

2022年 3 月期 決算説明会

日本システム技術株式会社
Japan System Techniques Co., Ltd.



未来を、仕掛ける。

目次

1. 2022年3月期ハイライト

2. JASTグループ概要

3. 業績概況

4. 2023年3月期予想と方針

5. 成長戦略

(1) 連結業績

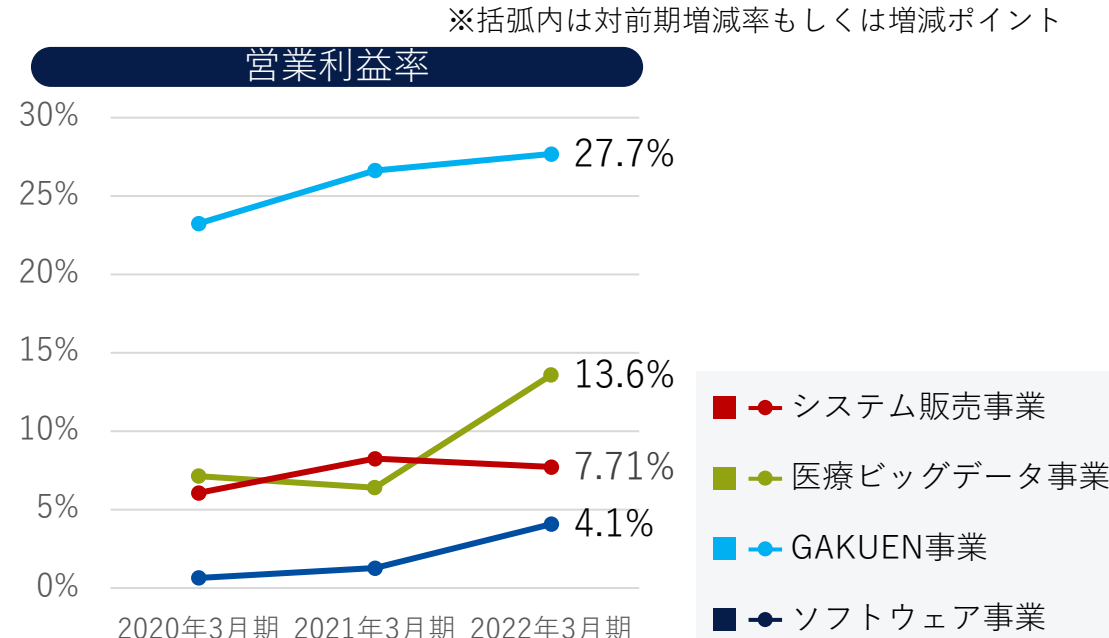
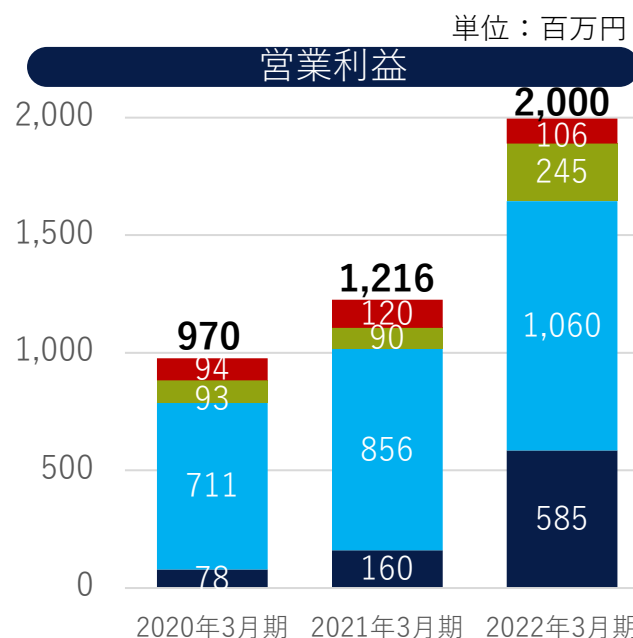
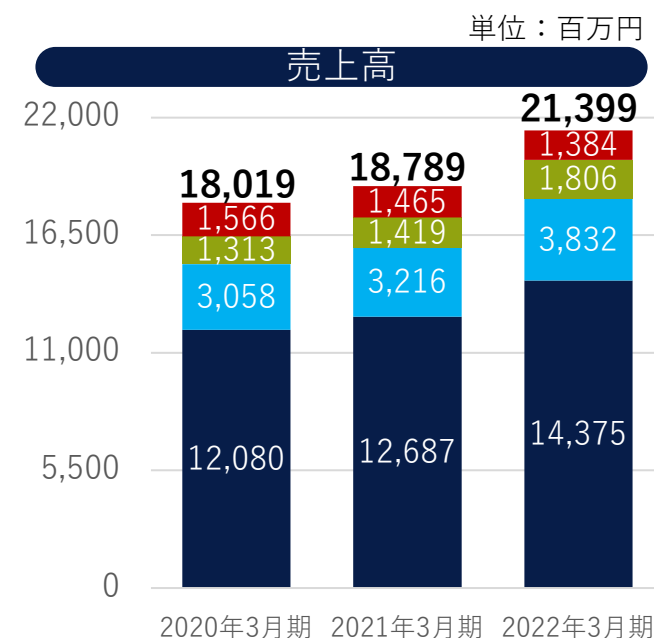
売上高は**11期連続増収・9期連続最高値更新**、
経常利益は**7期連続増益・3期連続最高値更新**でROEも大幅向上

		2020年3月期		2021年3月期			2022年3月期		
		実績	売上比	実績	売上比	対前期増減率・pt	実績	売上比	対前期増減率・pt
売上高	(百万円)	18,019	100.0%	18,789	100.0%	+4.3%	21,399	100.0%	+13.9%
売上総利益	(百万円)	4,412	24.5%	4,620	24.6%	+4.7%	5,688	26.6%	+23.1%
営業利益	(百万円)	970	5.4%	1,216	6.5%	+25.4%	2,000	9.3%	+64.5%
経常利益	(百万円)	1,021	5.7%	1,310	7.0%	+28.3%	2,052	9.6%	+56.6%
当期純利益	(百万円)	▲ 30	▲ 0.2%	578	3.1%	-	1,330	6.2%	+130.1%
一株当たり当期純利益	(円)	▲ 5.76		107.95		-	224.65		+108.1%
総資産	(百万円)	12,988		12,861		▲ 1.0%	15,539		+20.8%
純資産	(百万円)	6,218		6,850		+10.2%	9,194		+34.2%
自己資本比率	(%)	47.7		53.0		+5.3pt	58.9		+5.9pt
自己資本利益率 (ROE)	(%)	▲ 0.5		8.9		+9.4pt	16.7		+7.8pt
従業員数	(人)	1,164		1,320		+13.4%	1,448		+9.7%

(2) 事業別ダイジェスト

単位：百万円

事業セグメント	2022年3月期サマリ	売上高	営業利益	営業利益率
■ ソフトウェア事業	大型プライム新規案件増加、BankNeo「預り管理」販売好調、ASEANビジネス活況により業績拡大。一部不採算案件の解消で収益性が大幅改善	14,375 (+13.3%)	585 (+263.7%)	4.1% (+2.8pt)
■ GAKUEN事業	新製品「RXシリーズ」のリリースによる旧製品からの入換え案件と新規顧客の獲得、導入関連収益の増加で、飛躍的成長を継続	3,832 (+19.2%)	1,060 (+23.9%)	27.7% (+1.1pt)
■ 医療ビッグデータ事業	COVID-19の影響から脱したレセプト自動点検サービスの業績回復に加え、利益率の高い分析及び通知サービス・保険者業務支援サービスが成長	1,806 (+27.2%)	245 (+170.0%)	13.6% (+7.2pt)
■ システム販売事業	世界的な半導体不足の影響によりハード機器の調達が延伸し、主力である大学向け機器販売が減収	1,384 (▲5.5%)	106 (▲11.6%)	7.7% (▲0.5pt)



(3) トピックス

事業セグメント	2022年3月期トピックス
ソフトウェア事業	• BankNeoシリーズ新製品の地域金融機関向けCRM「SMART BankNeo」発売(2021/5) • Office DX –顔認証打刻– 提供開始(2021/10) • エクスプローラーコンサルティング株式会社との営業生産性向上支援システムの共同開発(2021/10) • Shopify公認のEC制作会社として「Shopify Experts（エキスパート）」に認定(2022/3) • 「Cloud BankNeo 預り管理」が株式会社セールスフォースジャパン発表の「2021 年人気のあった業種別 AppExchange アプリランキング」で2位入賞(2022/3)
GAKUEN事業	• 大日本印刷株式会社とGAKUEN事業分野で協業開始、大学の教務システムと教科書選定データベースを連動し大学のDXを推進(2021/7)
医療ビッグデータ事業	• 公益財団法人 佐々木研究所附属 杏雲堂病院院長 相馬正義氏および 株式会社データフォーシーズとの新型コロナウイルス情報ダッシュボードサービス提供(2021/4) • 国立情報学研究所とともに、アカデミア研究者向けに傷病情報データの無償提供を開始(2022/1) • 慶應義塾大学および理化学研究所との共同研究結果学会発表(2022/1)
その他	• JAST健康保険組合の設立(2021/7) • SDGs宣言を策定(2021/7) • 第2回新株予約権（行使価額修正条項付）の行使完了(2021/9) • 東京証券取引所プライム市場への移行に向けた計画書を提出・公開（2021/11） • 「健康経営優良法人2022（大規模法人部門）」に認定(2022/3) • ウクライナ人道支援を目的とした寄付実施(2022/3)

目次

1. 2022年3月期ハイライト

2. JASTグループ概要

3. 業績概況

4. 2023年3月期予想と方針

5. 成長戦略

(1) 企業情報

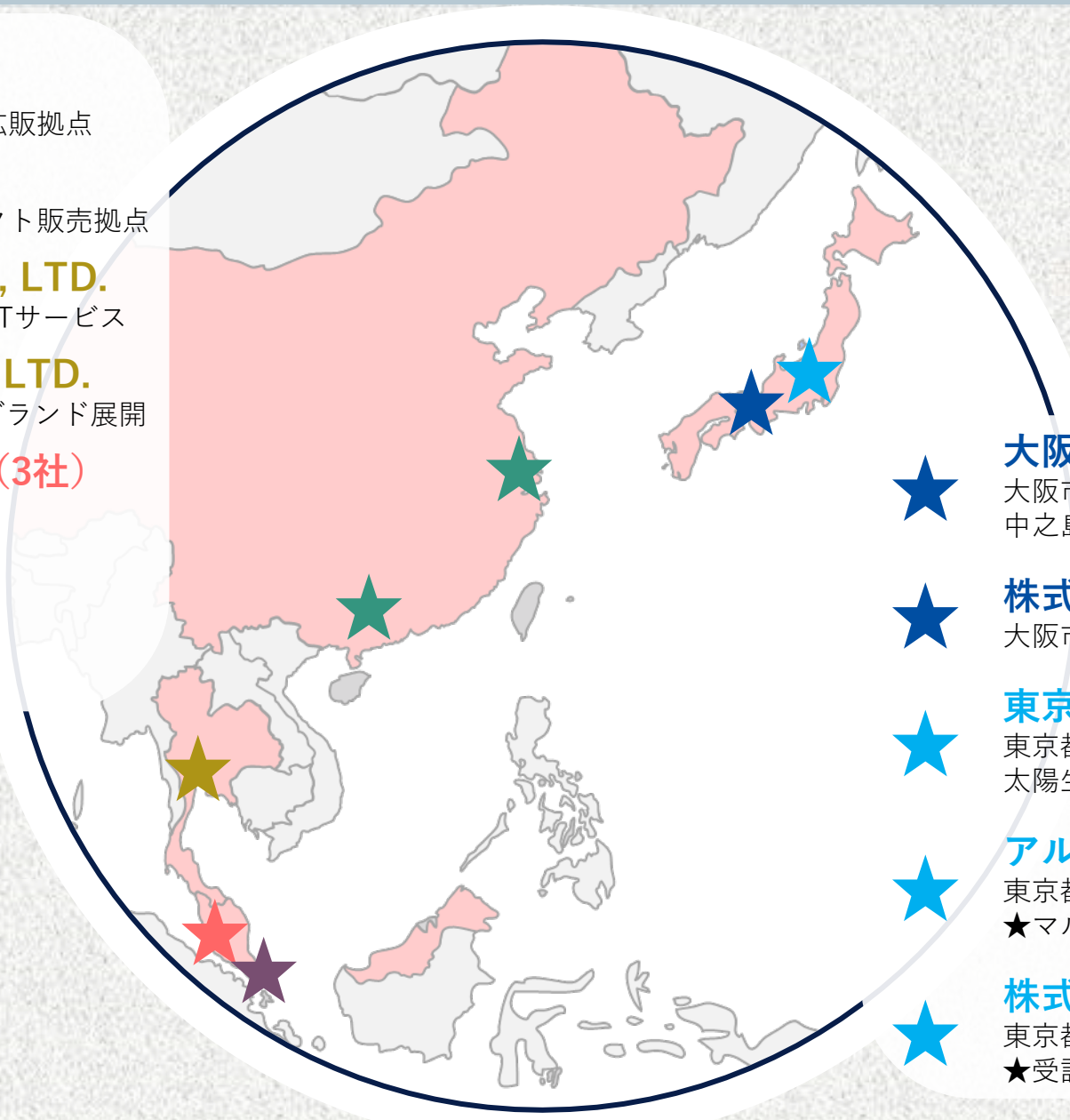
社名	日本システム技術株式会社 Japan System Techniques Co., Ltd. (略称：JAST)
上場市場	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード：4323)
設立	1973年 3 月26日
資本金	15億3,540万円 (2022年 3 月31日現在)
所在地	大阪本社〔本店〕 大阪市北区中之島二丁目3番18号 (中之島フェスティバルタワー29階) 東京本社 東京都港区港南二丁目16番2号 (太陽生命品川ビル27階)
代表者	代表取締役社長 平林 武昭
従業員数	連結：1,448名 (2022年 3 月31日現在) 2022年 4 月 1 日付の新入社員 (連結)：95名
系列	なし (完全独立系)
拠点	東京、大阪、シンガポール、タイ、マレーシア、中国

事業領域	1. ソフトウェア事業 2. GAKUEN事業 3. システム販売事業 4. 医療ビッグデータ事業
各種資格	• プライバシーマーク認定 • ISO9001 登録事業者 • ISO14001 登録事業者 • ISO27001 登録事業者 • ISO20000 登録事業者※ • 健康経営優良法人2022
各種 認証マーク	   

※当社ヘルスケアイノベーション事業部で登録

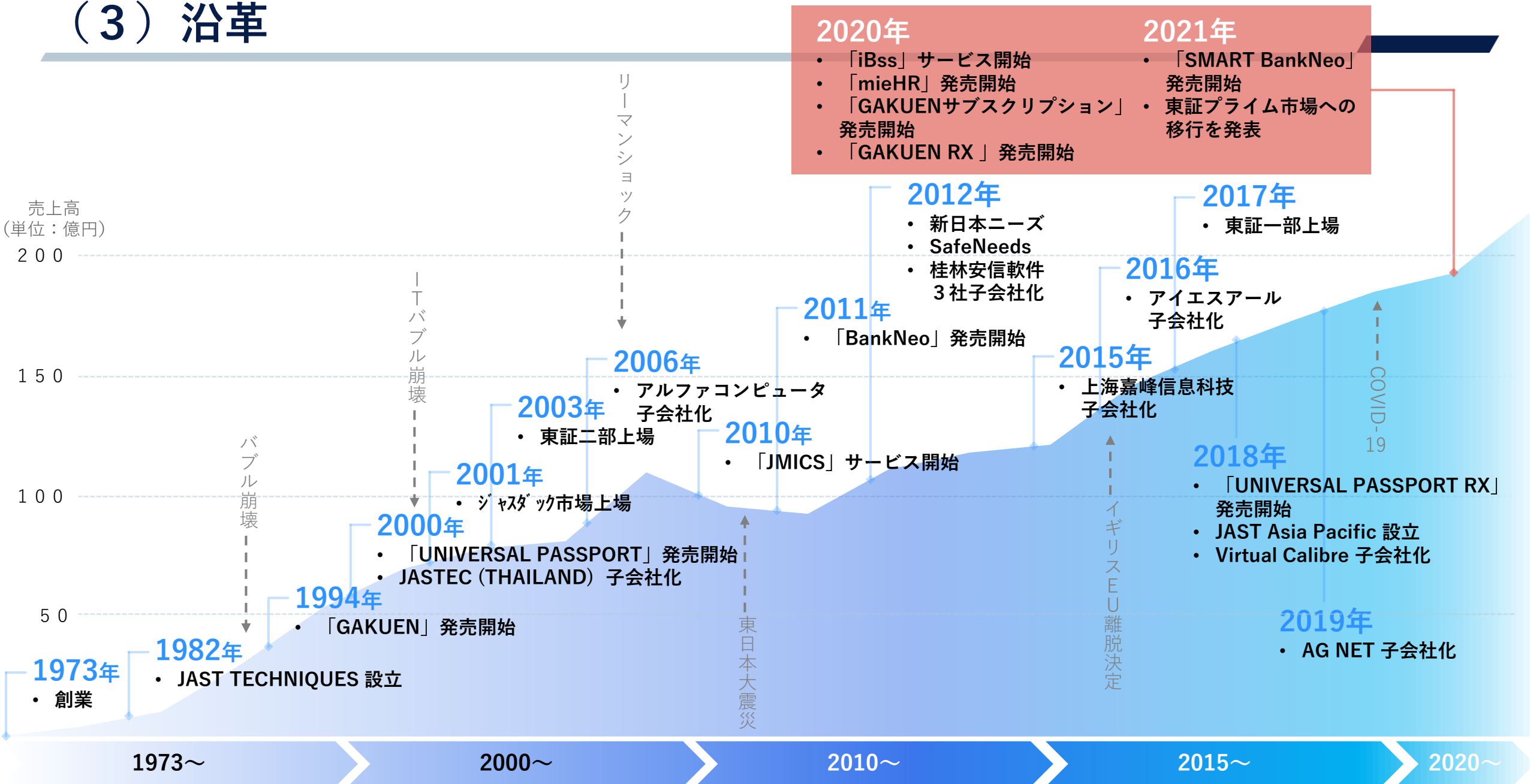
(2) グループ一覽

- ★ 桂林安信軟件有限公司
中国広西チワン族自治区桂林市
★オフショア開発拠点 ★中国国内拡販拠点
- ★ 上海嘉峰信息科技有限公司
中国上海市 ★中国の開発兼プロダクト販売拠点
- ★ JASTEC(THAILAND) CO., LTD.
タイ バンコク ★現地日系企業向けITサービス
- ★ JAST ASIA PACIFIC CO., LTD.
タイ バンコク ★ASEANでのJASTブランド展開
- ★ Virtual Calibre グループ (3社)
マレーシア クアラルンプール近郊
★SAP事業展開
- ★ AG NET PTE.LTD.
シンガポール ★HRM事業展開



- ★ 大阪本社
大阪市北区中之島二丁目3番18号
中之島フェスティバルタワー28・29階
- ★ 株式会社新日本ニーズ
大阪市 ★地域密着型ITサービス
- ★ 東京本社
東京都港区港南二丁目16番2号
太陽生命品川ビル5・26・27階
- ★ アルファコンピュータ株式会社
東京都品川区
★マルチベンダITインフラ設計 (システム販売)
- ★ 株式会社アイエスアール
東京都千代田区
★受託開発、パッケージ開発・販売

（3）沿革



(4) 事業内容

メーカーや系列等一切の制約がなく、自由な立場で広範なサービスを提供

ソフトウェア事業

◆ ソフトウェア受託開発

完全独立系の強みを活かし、幅広い分野に渡り多種多様な情報システム/サービスを提供

・ビジネス分野

システムの提案から開発、運用、保守まで一貫したITサービスを提供

・エンジニアリング分野

スマートデバイス/AV機器組込みシステム/情報通信関連システム等を提供

◆ その他ソリューション

・金融機関向けパッケージ

BankNeo

・人材資源開発ソリューション

AGHRM®

・人材データプラットフォーム

mieHR

・社内向けキャッシュレスサービス

・Office DX - 顔認証打刻 -

GAKUEN事業

◆ 大学経営ソフトウェアパッケージ開発・販売

文教ITトップブランド「GAKUENシリーズ」を中核に、文教DXを推進するトータルソリューションを提供

・学校事務支援統合システム

GAKUENRX

GAKUEN SERIES

・大学向け統合型Webサービスシステム

UNIVERSAL PASSPORTRX

GAKUEN SERIES

医療ビッグデータ事業

◆ 医療情報データの点検分析及び関連サービス

5つのヘルスケア関連事業を展開。医療データ利活用と保険者業務改革を推進するワンストップサービスを提供

・レセプト自動点検システム

JMICS

JAST Medical Insurance Checking System

・保険者業務支援サービス

iBss

・生活保護向けレセプト管理システム

生活保護等版

レセプト管理クラウドサービス

RezeptPlus

※1

・データヘルス事業

REZULT

・データ利活用事業

システム販売事業

◆ IT機器の販売及び情報通信インフラ構築

インフラ構築/クラウドサービスから運用保守/関連SIまで、ICTインフラのワンストップソリューションを提供

・インフラ設計構築

・システム製品販売

・クラウドサービス

・ICTコンサルティング

◆ 売上高・営業利益構成比

29%

18%

12%

8%

7%

6%

ソフトウェア事業

GAKUEN事業

医療ビッグデータ事業

システム販売事業

※1：他社ソリューションの商標については当資料末尾「[商標](#)」に記載しております

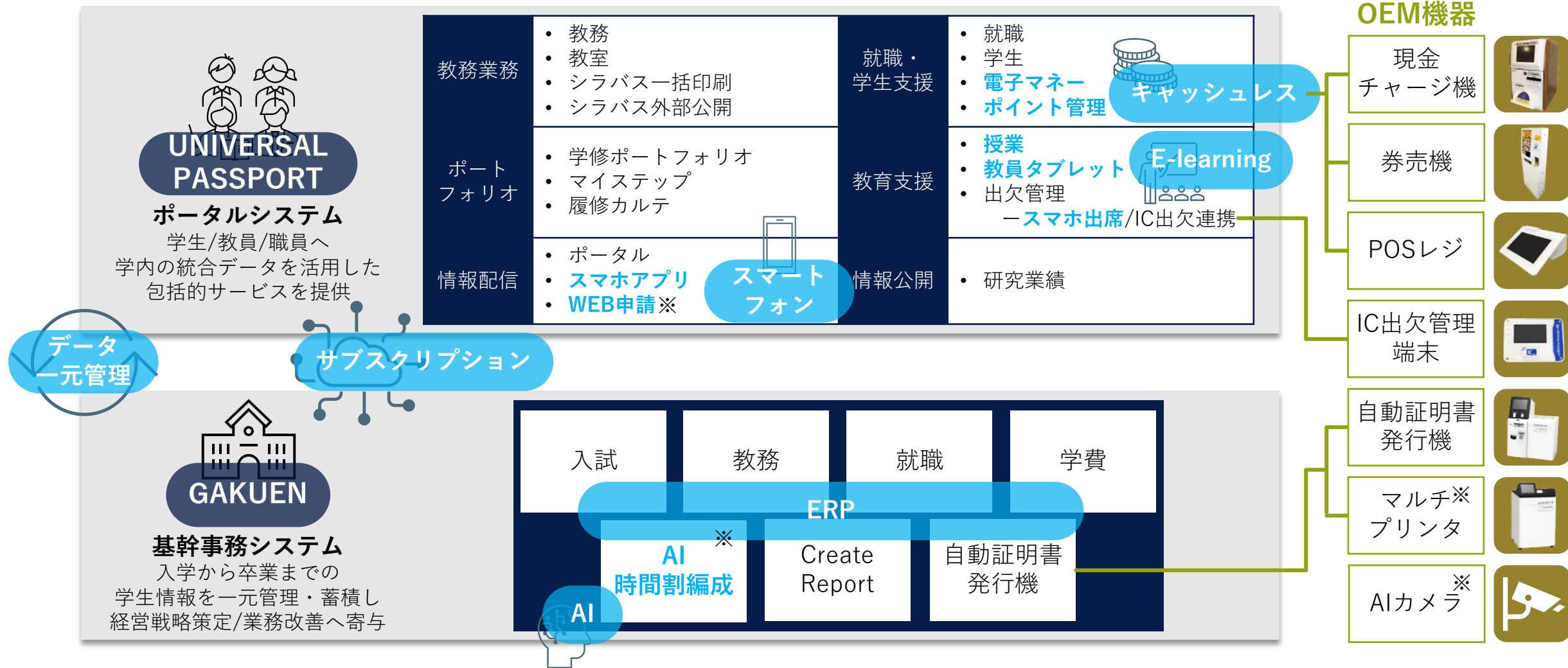
JASTブランド

(5) JASTブランド：GAKUEN

導入実績420校を突破したトップシェアソリューション
高等教育機関の活動を包括的に支援する統合プラットフォーム

DX主要テーマ

※：開発中



(6) JASTブランド：JMICS

月間レセプト処理数700～1000万枚、大量の医療データを活用し、
保険者業務支援から分析・事業コンサル・保健事業実行までトータルに支援

給付・適用関連サービス

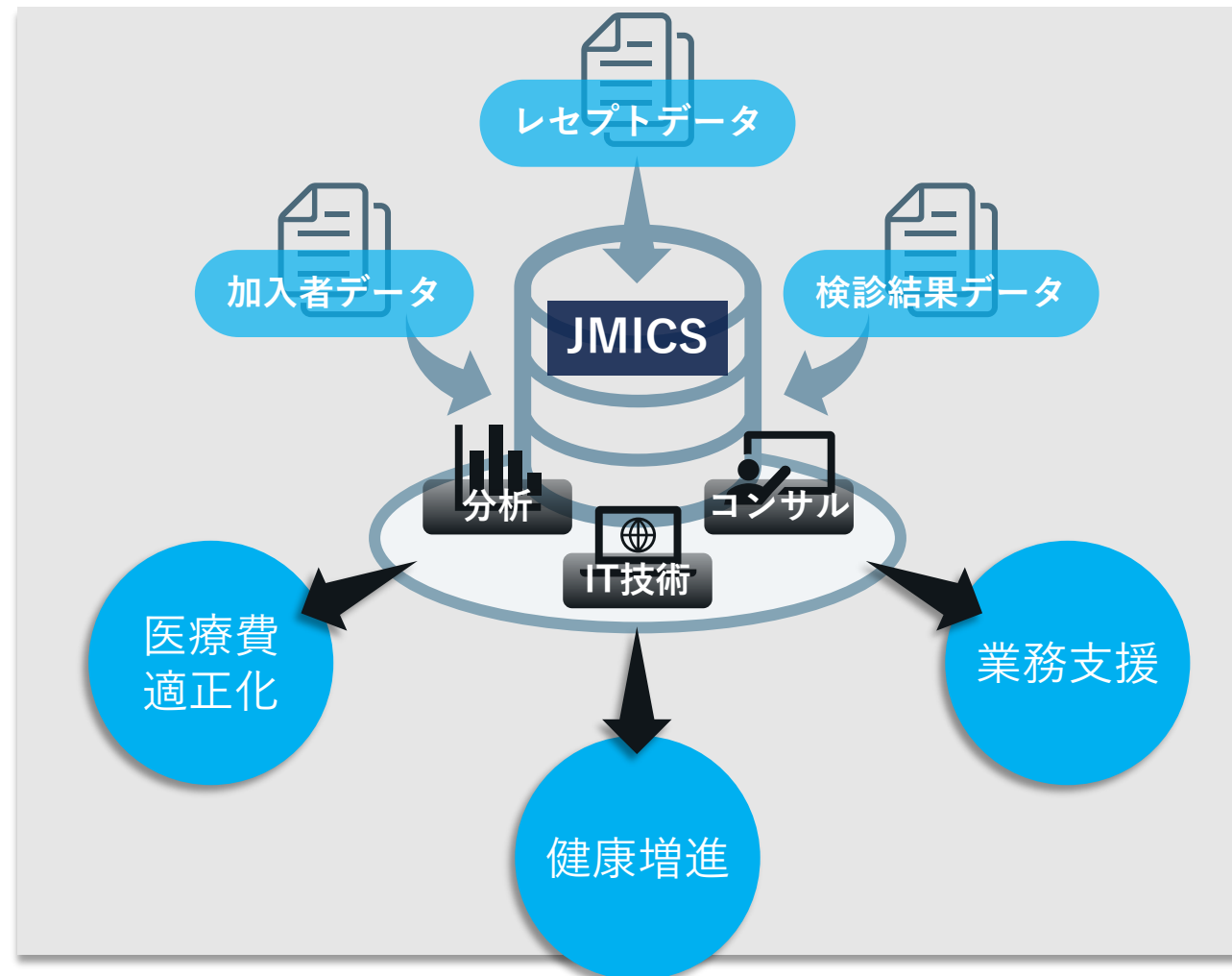
システムを利用したレセプト点検と被扶養者調査や補助金申請支援

- ・点検業務【JMICS】
 - レセプト点検
 - 海外療養費点検、柔整点検
- ・Web申請【iBss】
 - 被扶養者調査システム（検認）
 - 各種申請（インフルエンザ補助金）

通知サービス

医療費適正化に向けた対象者抽出と是正通知

- ・WEB通知
- ・ジェネリック医薬品使用促進通知
- ・重複・頻回受診者抽出、是正通知
- ・医薬品重複投与者抽出、是正通知
- ・受診勧奨通知発送
- ・その他、受療行動適正通知 etc.



医療費分析サービス

レセプト、健診データを中心に各種保健事業や介護データにも対応

- ・データヘルス策定から実行までのトータルサポート
- ・レセプト/健診データ分析
- ・保健事業の実施効果分析
- ・各種分析レポート、ベンチマーク
- ・GISを活用した地域別医療費分析
- ・介護データの分析

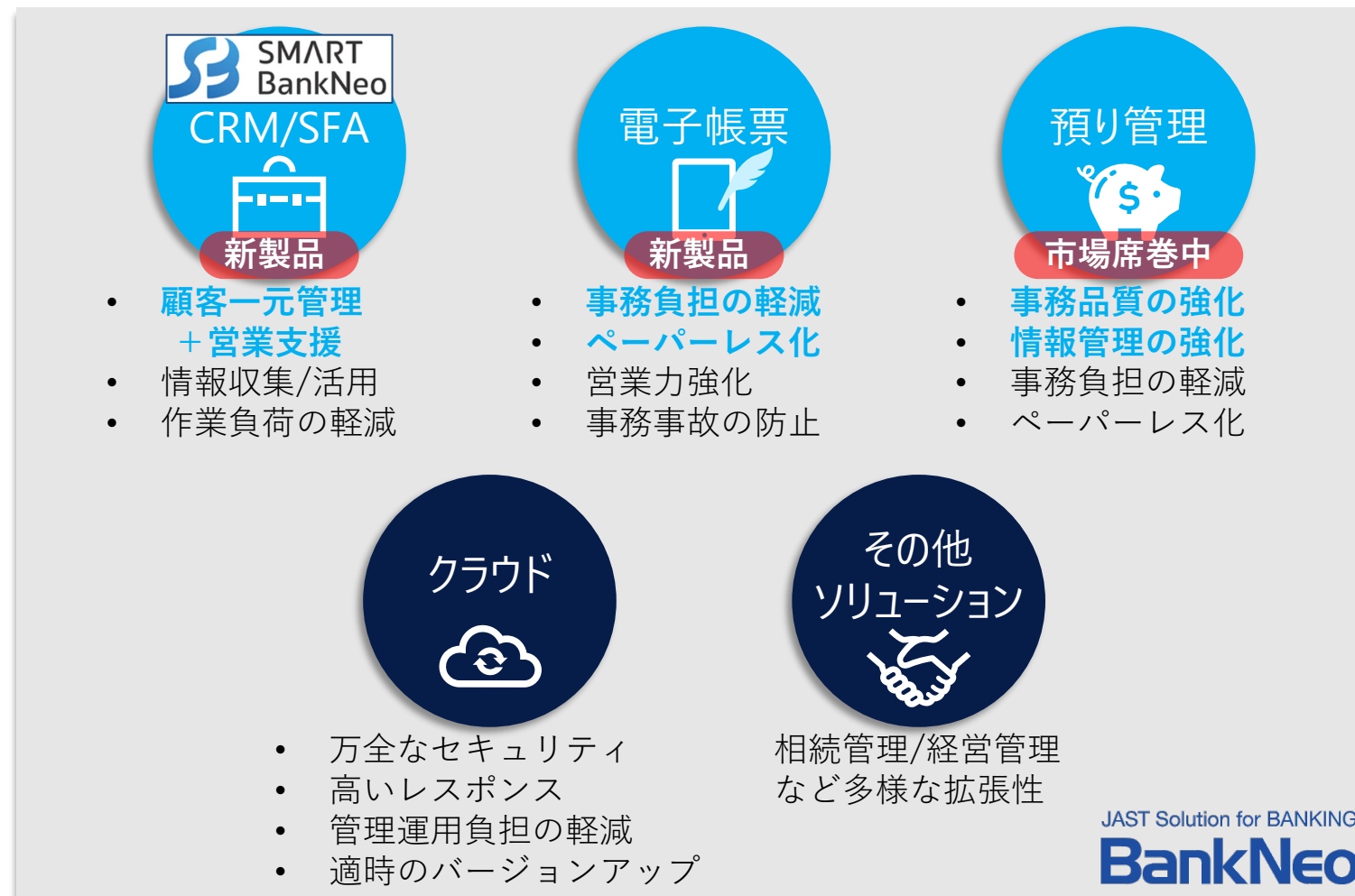
保健指導サービス

保健師、管理栄養士、看護師等による保健指導

- ・対象者の抽出業務
- ・生活習慣病重症化予防
- ・糖尿病性腎症重症化予防プログラム
- ・特定保健指導（対面・ICT）
- ・適正受診指導（重複、頻回等）

(7) JASTブランド：BankNeo

導入容易性と拡張性を活かした**スマート&ニッチソリューション**を豊富に展開
金融機関のDXを推進する統合パッケージ



全国の金融機関で
多数の導入実績

スモールスタート
による導入容易性

導入後の
高い拡張性

30年を超えて蓄積した
豊富なノウハウ

顧客ニーズを捉えた
サービスラインナップ

(8) 理念先行経営

創業来、道経一体思想（経営の品質は人の品質に尽きる）のもと
「はじめに理念ありき」の理念先行経営を貫徹

天爵を修めて人爵これに従う

基本精神

不断に道義・原理原則を実行し、人格・品性・徳を高めることで
尊敬/信頼される品格を備えた人に自然的に与えられる位

業績や経験に基づき団体や上司から与えられた
人為的/便宜的な外見上の位階

先に人爵を与えられることで、あたかも自分は天爵も得たものと錯覚する。一人ひとりが
まず「天爵を修める」ことを、経営活動・人材育成における究極のテーマとしています

経営方針

完全独立系の立場を堅持

目の前のお客様と本質的に向き合うため、**一切の制約無く自由な立場で挑戦できる**、完全独立系の立場を堅持しています。**あらゆる産業・技術分野で蓄積した成果と知見**が、今のJASTの強さとなっています

「人づくり」経営

人間力の研鑽が何よりも先行すべきである、との信念に基く「**人づくり**」経営で、企業成長の原動力である**情報技術への情熱とお客様への誠心誠意のサービス**をJASTの個々人に育みます

四方良し

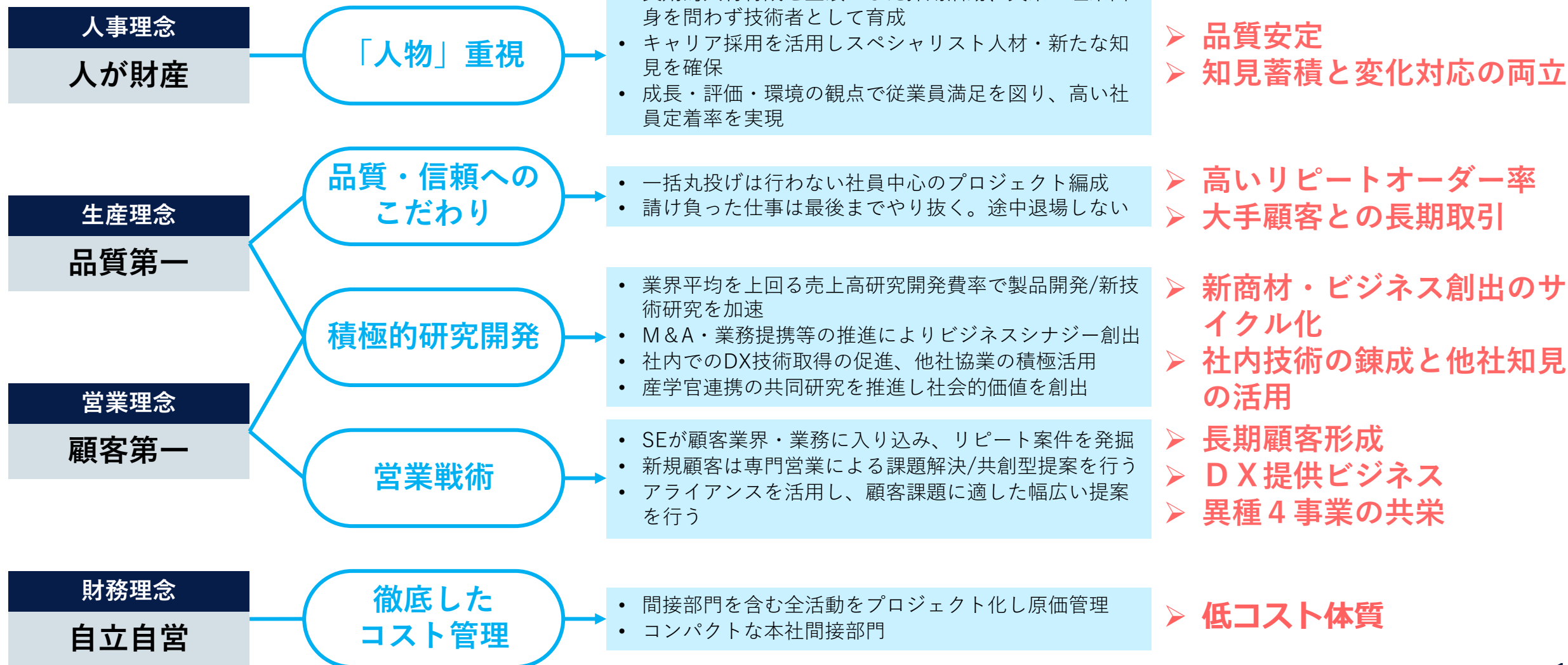
お客様、株主、社員、社会とwin-winの関係を築くべく「**四方良し**」の理念を掲げます。各ステークホルダの価値を最大化し、総体としての企業価値を高めることで、**長期安定成長を追求**しています

不易流行

松尾芭蕉の確立した「**不易流行**」（本質的なものを守りつつ、新しい変化を取り入れ、価値を創造すること）の理念に則り、**一貫した経営理念＝「不易」で変わる経営＝「流行」**を正しくリードします

(9) 経営方針

経営方針を人事・営業・生産・財務の4つの理念に落とし込み、長期安定成長への指針としている



目次

1. 2022年3月期ハイライト
2. JASTグループ概要
- 3. 業績概況**
4. 2023年3月期予想と方針
5. 成長戦略

(1) グループ業績：連結業績

上期の売上高・利益が大幅に伸長し、上下比率が均整化
下期も勢いを止めることなく、通期として創業来最高値で着地

単位：百万円

	2021年3月期			2022年3月期			対前期比較 (通期)	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減額	増減率
売上高	8,042	10,747	18,789	10,042	11,357	21,399	+2,610	+13.9%
売上原価	6,267	7,902	14,169	7,323	8,388	15,711	+1,542	+10.9%
売上総利益	1,775	2,845	4,620	2,719	2,969	5,688	+1,068	+23.1%
販売費及び一般管理費	1,752	1,651	3,403	1,726	1,961	3,687	+284	+8.3%
内研究開発費	195	204	399	160	276	436	+37	+9.3%
営業利益	23	1,193	1,216	992	1,008	2,000	+784	+64.5%
経常利益	58	1,252	1,310	1,004	1,048	2,052	+742	+56.6%
当期純利益	▲ 309	887	578	686	644	1,330	+752	+130.1%
包括利益	▲ 258	1,007	749	706	636	1,342	+593	+79.2%

(2) グループ業績：連結貸借対照表

財務基盤は引き続き安定的に推移

単位：百万円

	2021年3月期		2022年3月期		対前期比較		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	構成比変動
資産	12,861	100.0%	15,539	100.0%	+2,678	+20.8%	—
流動資産	9,696	75.4%	12,389	79.7%	+2,693	+27.8%	+4.3pt
有形固定資産	542	4.2%	546	3.5%	+4	+0.7%	▲ 0.7pt
無形固定資産	378	2.9%	274	1.8%	▲ 104	▲ 27.5%	▲ 1.2pt
投資その他の資産	2,243	17.4%	2,329	15.0%	+86	+3.8%	▲ 2.5pt
負債純資産合計	12,861	100.0%	15,539	100.0%	+2,678	+20.8%	—
負債	6,011	46.7%	6,345	40.8%	+334	+5.6%	▲ 5.9pt
流動負債	4,388	34.1%	4,621	29.7%	+233	+5.3%	▲ 4.4pt
固定負債	1,623	12.6%	1,724	11.1%	+101	+6.2%	▲ 1.5pt
純資産	6,850	53.3%	9,194	59.2%	+2,344	+34.2%	+5.9pt
株主資本	6,592	51.3%	8,929	57.5%	+2,337	+35.5%	+6.2pt
資本金	1,076	8.4%	1,535	9.9%	+459	+42.7%	+1.5pt
資本剰余金	1,128	8.8%	1,703	11.0%	+575	+51.0%	+2.2pt
利益剰余金	4,605	35.8%	5,865	37.7%	+1,260	+27.4%	+1.9pt
自己株式	▲ 218	▲ 1.7%	▲ 175	▲ 1.1%	+43	▲ 19.7%	+0.6pt
その他の包括利益累計額	220	1.7%	230	1.5%	+10	+4.5%	▲ 0.2pt
新株予約権	5	0.0%	—	0.0%	▲ 5	—	—
非支配株主持分	31	0.2%	34	0.2%	+3	+9.7%	▲ 0.0pt

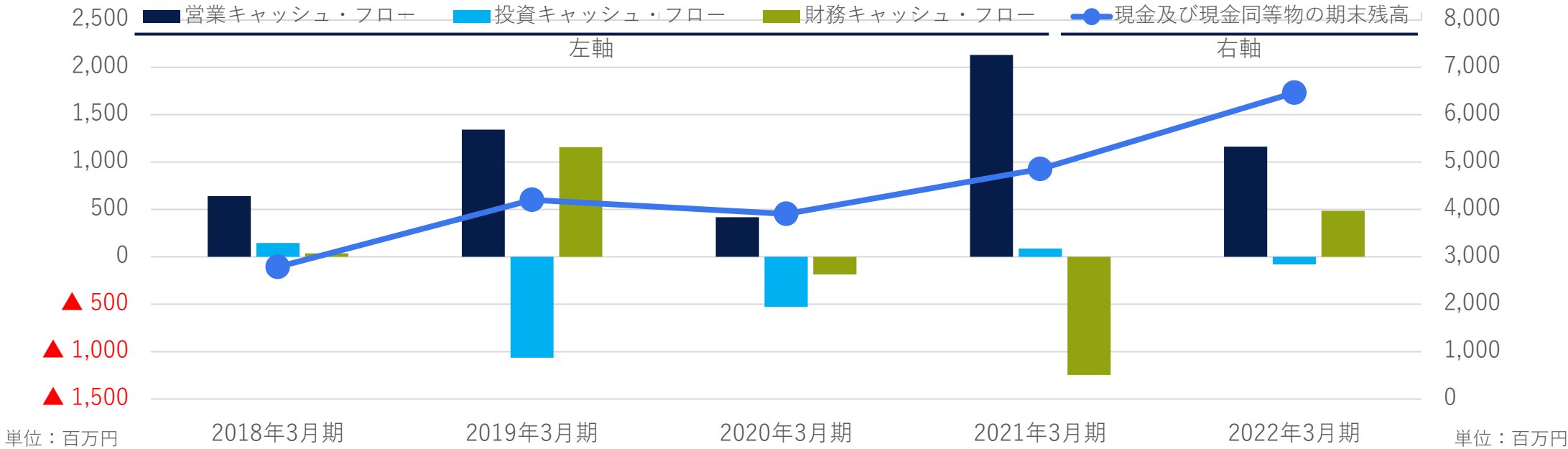
(3) グループ業績：連結キャッシュフロー

個別キャッシュフローで増減あるも、全体として潤沢に推移

単位：百万円

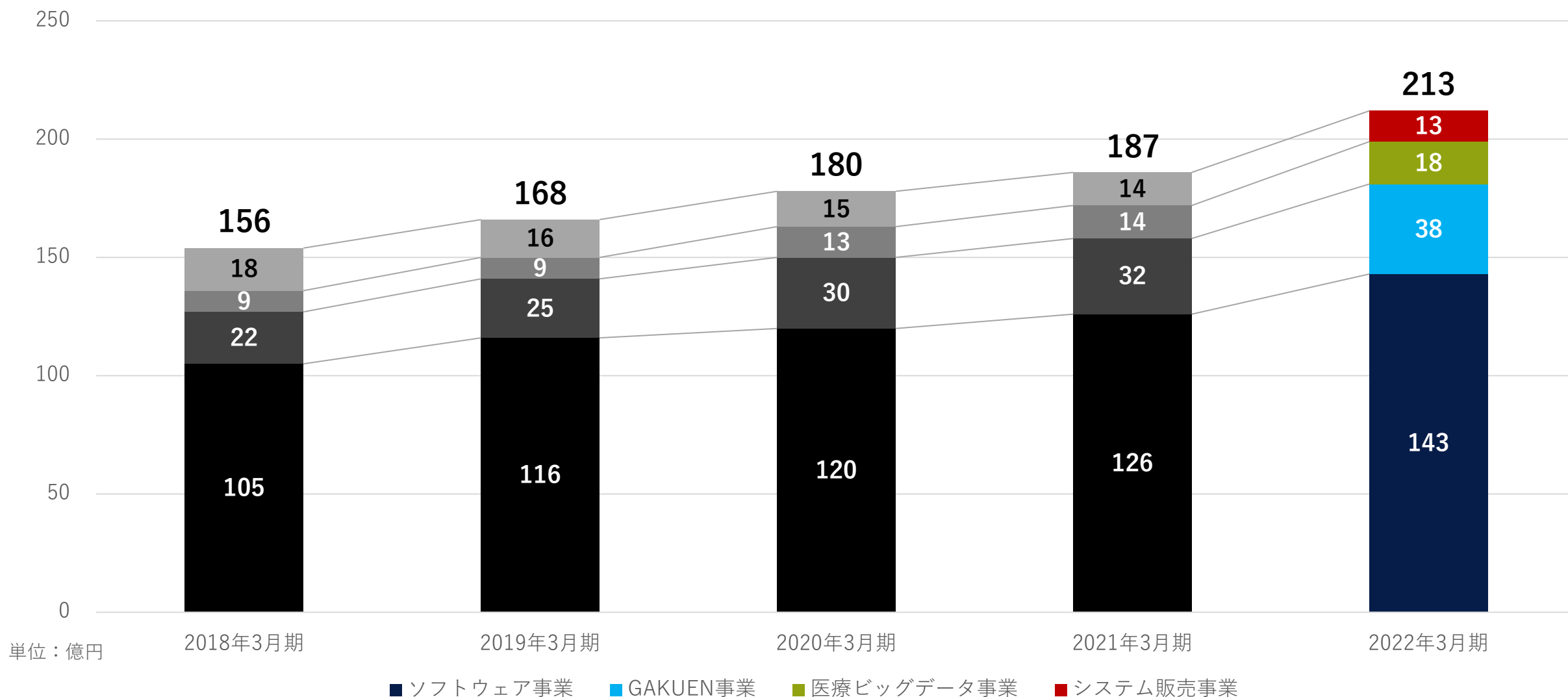
	2018年 3 月期	2019年 3 月期	2020年 3 月期	2021年 3 月期	2022年 3 月期	対前期比較	
						増減額	増減率
営業キャッシュ・フロー	642	1,342	417	2,131	1,162	▲ 969	▲45.5%
投資キャッシュ・フロー	147	▲ 1,063	▲ 527	87	▲ 80	▲ 167	▲192.0%
財務キャッシュ・フロー	38	1,157	▲ 185	▲ 1,247	486	+1,733	—
現金及び現金同等物の期末残高	2,785	4,204	3,908	4,853	6,463	+1,610	+33.2%

キャッシュフロー推移



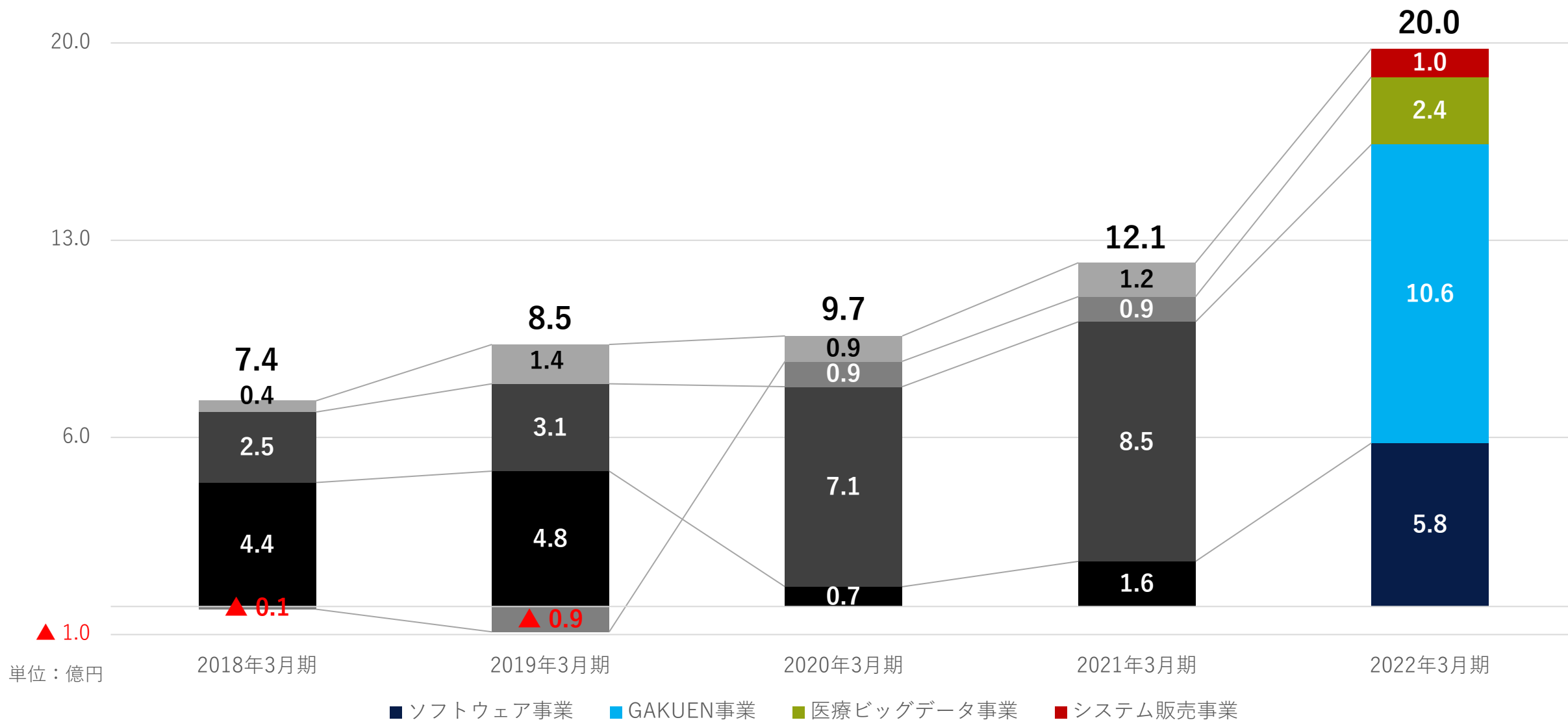
(4) グループ業績：セグメント別売上高推移

ソフトウェア事業/GAKUEN事業/医療ビッグデータ事業の3事業が每期増収傾向



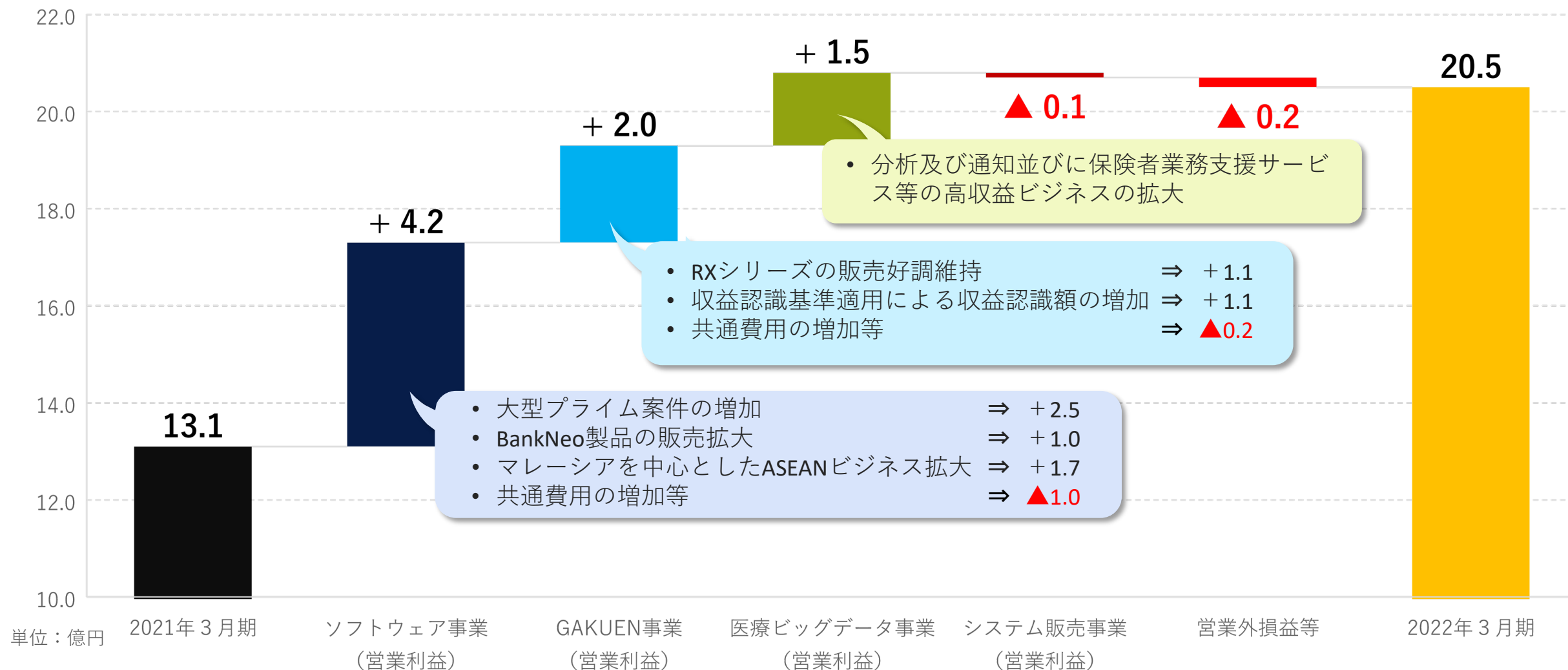
(5) グループ業績：セグメント別営業利益推移

ソフトウェア事業が大幅回復、GAKUEN事業は高収益傾向を継続



(6) グループ業績：経常利益増加分の内訳

成長の主要因は3セグメントの営業利益増、営業外損益等は昨年度同水準で推移



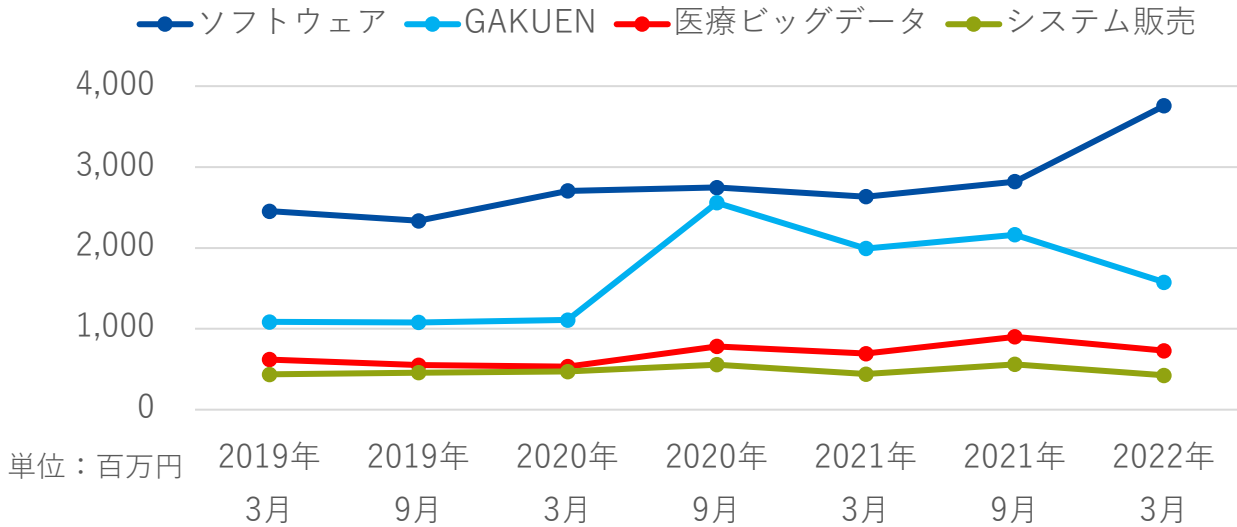
(7) グループ業績：受注残高と売上高の推移

当期末はソフトウェア事業の受注残高が伸長し、
当第二四半期と同水準および前期末比+12.6%の受注残高を確保

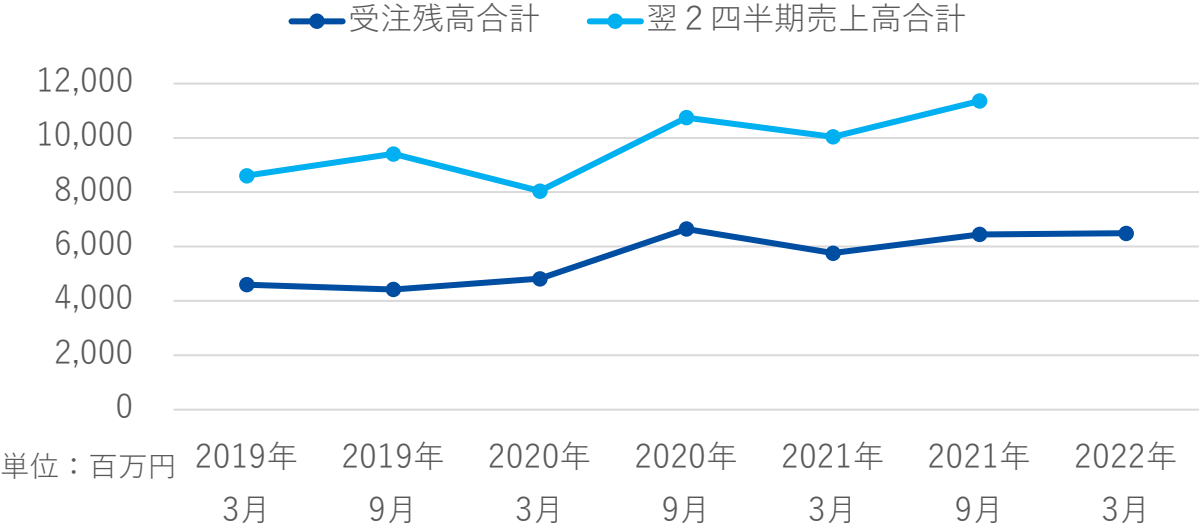
単位：百万円

事業/期	2019年3月	2019年9月	2020年3月	2020年9月	2021年3月	2021年9月	2022年3月
■ ソフトウェア	2,455	2,336	2,705	2,748	2,634	2,821	3,759
■ GAKUEN	1,084	1,079	1,108	2,559	1,993	2,164	1,576
■ 医療ビッグデータ	619	549	532	782	692	900	727
■ システム販売	435	457	471	555	439	559	423
受注残高 合計	4,595	4,423	4,818	6,645	5,760	6,446	6,486

事業別受注残高

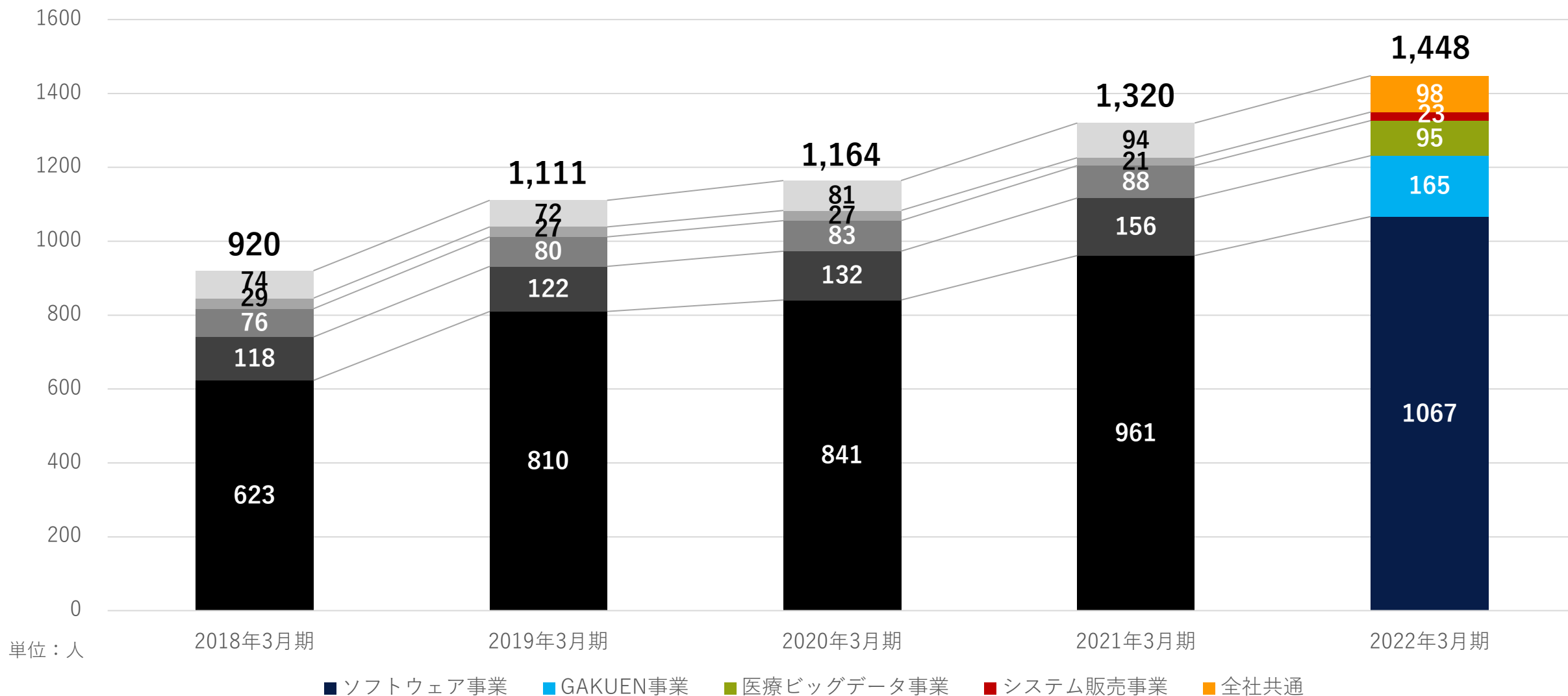


受注残高合計と翌2四半期売上高



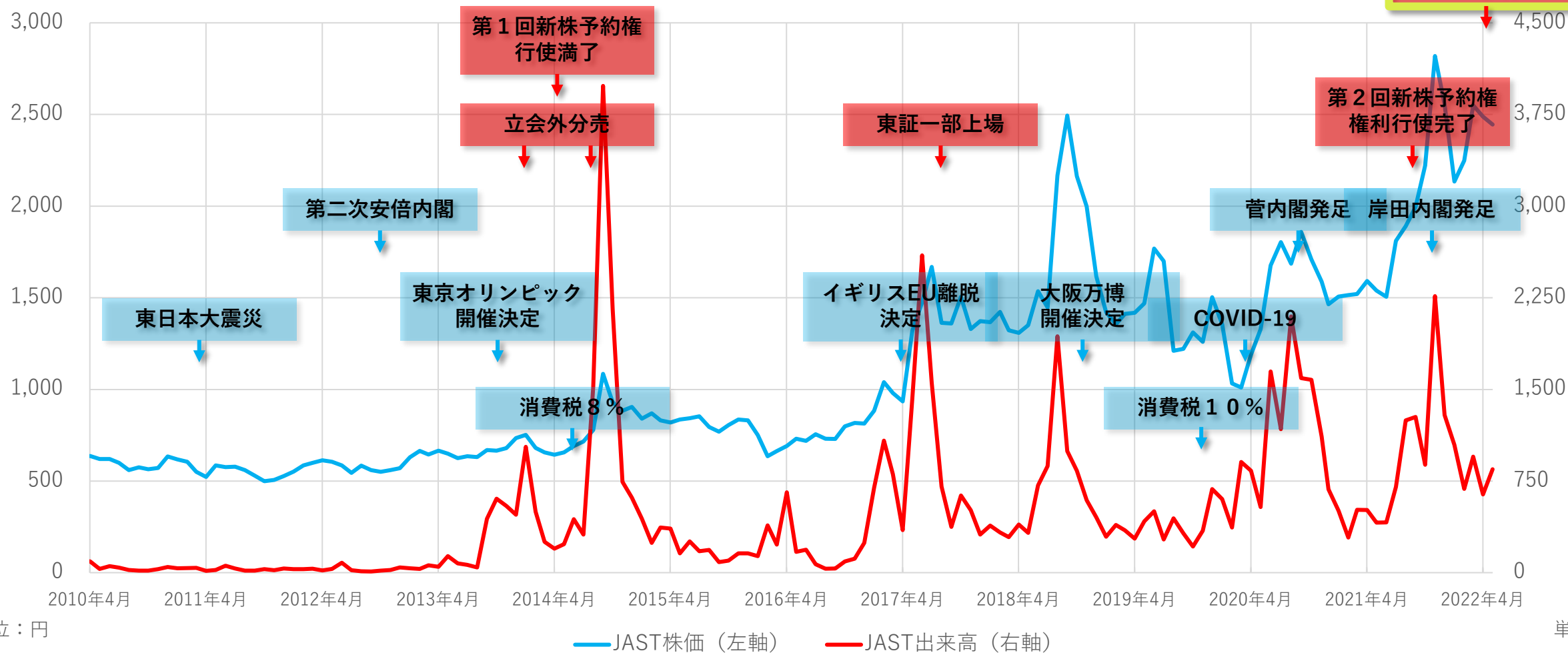
(8) 連結従業員数推移

エンジニア人材は売り手市場にある中で、安定継続的に人財を確保



（9）JAST株価・JAST出来高の推移

増益基調と連動しながら、株価水準も上昇



株価情報（2022年6月7日時点）

株価

2,403円

EPS

224.65円

PER

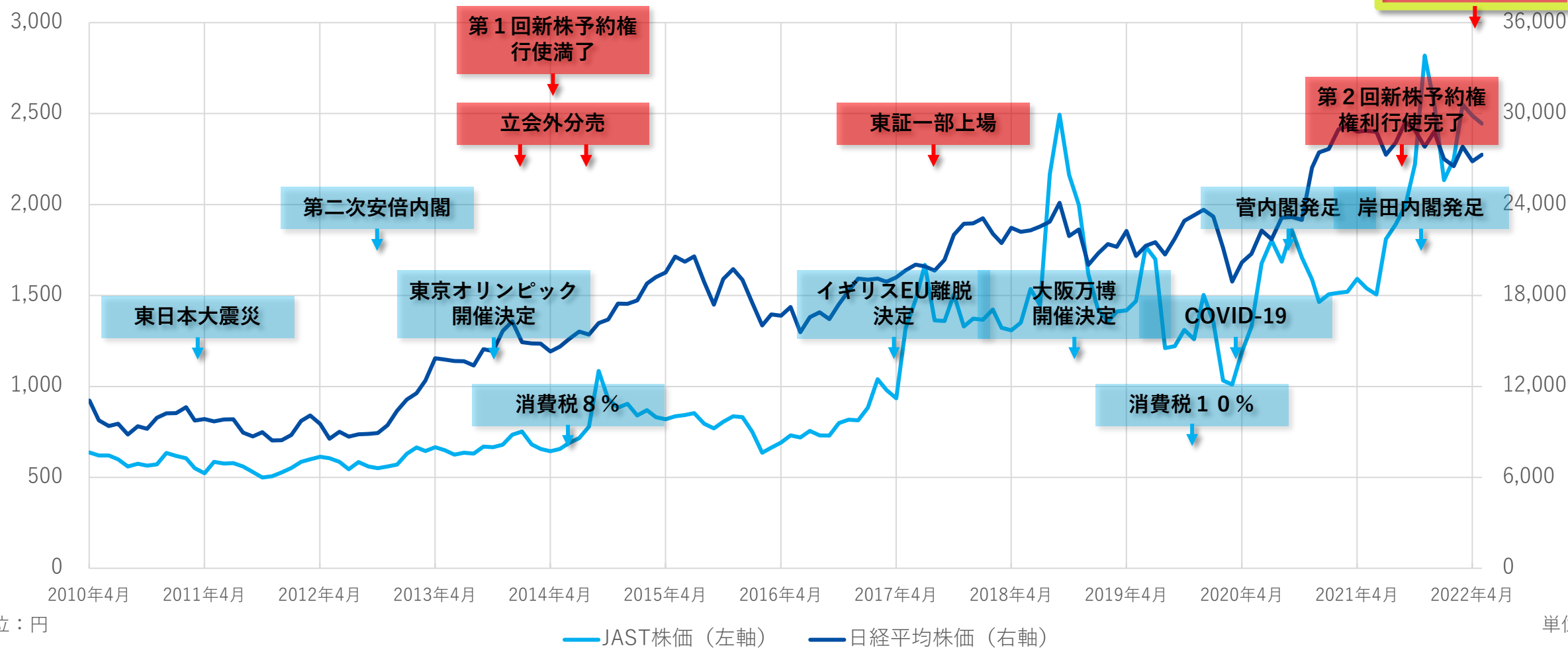
10.70倍

PBR

1.61倍

（１０）JAST株価・日経平均株価の推移

東証プライム市場への移行に連動し、株価水準も上昇



株価情報（2022年6月7日時点）

株価

2,403円

EPS

224.65円

PER

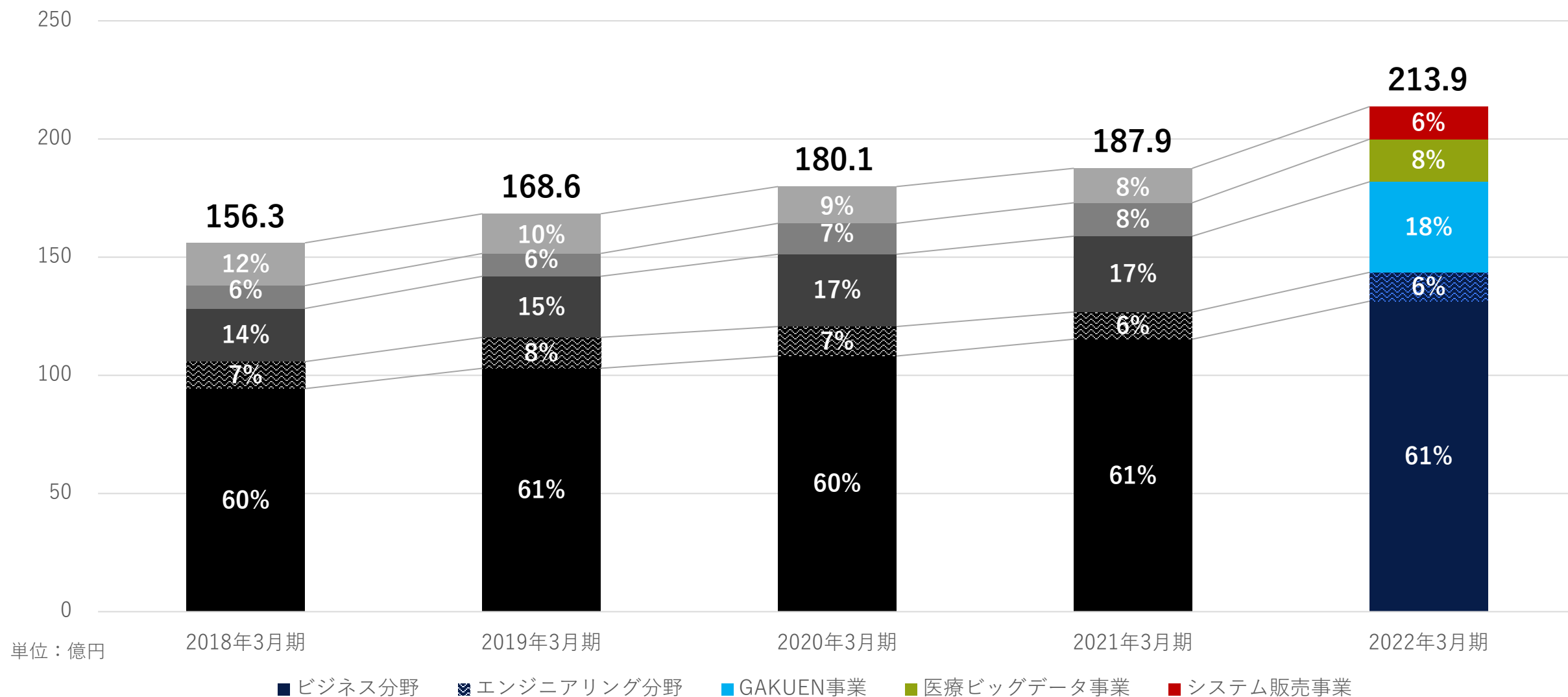
10.70倍

PBR

1.61倍

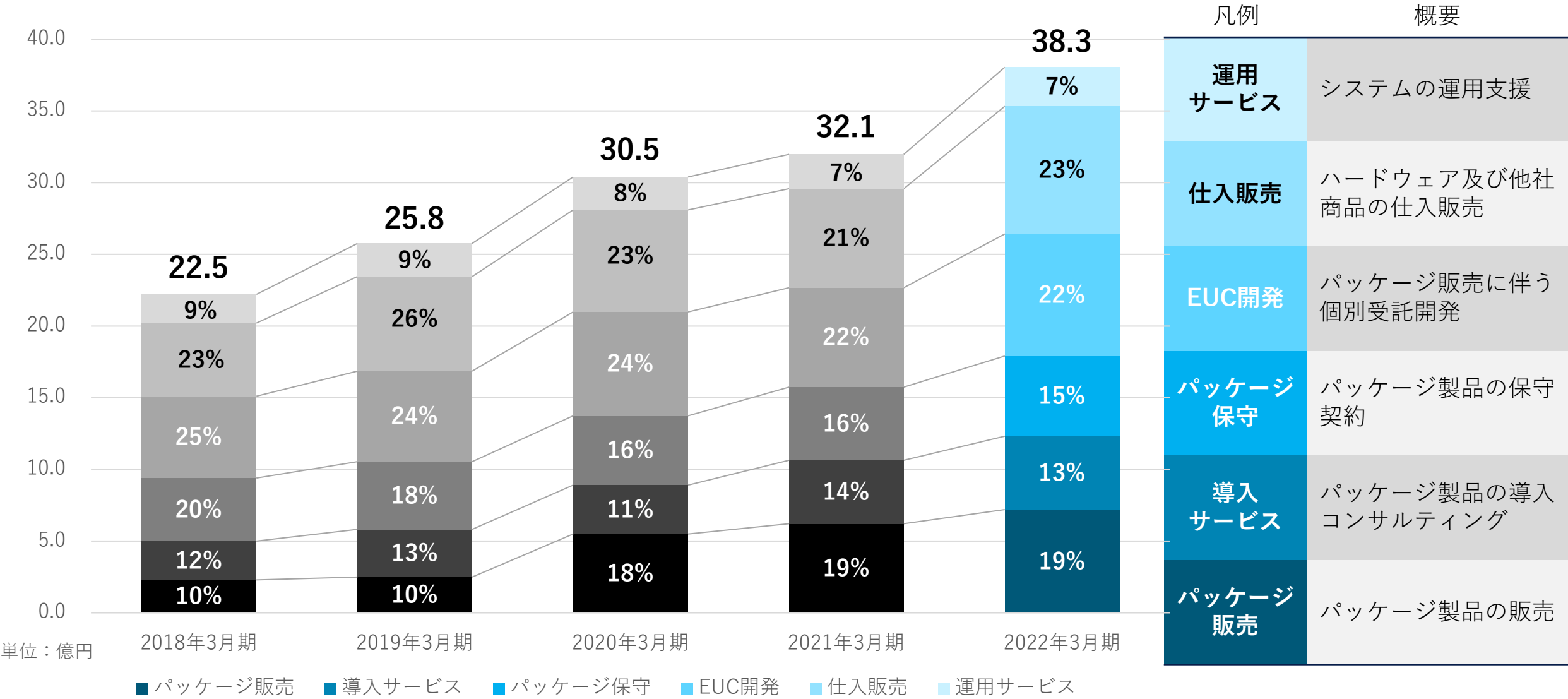
（１１）カテゴリ別業績：分野別売上高

各分野の売上高が拡大、全体として均整をとりつつ推移



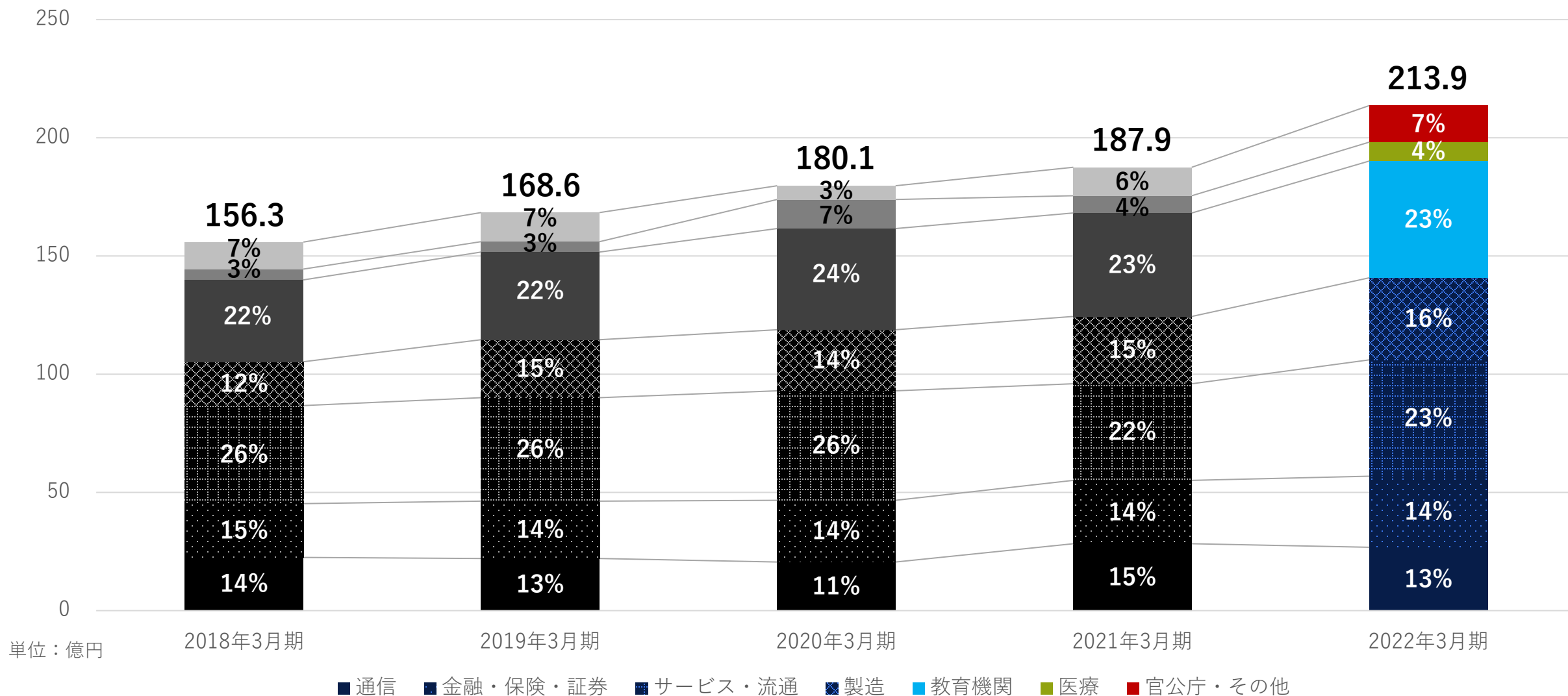
(1 2) カテゴリ別業績： GAKUEN事業分野別売上

新シリーズリリースによるパッケージ販売の好調を起点に、各分野が連動して伸長



（１３）カテゴリ別業績：顧客業種別売上

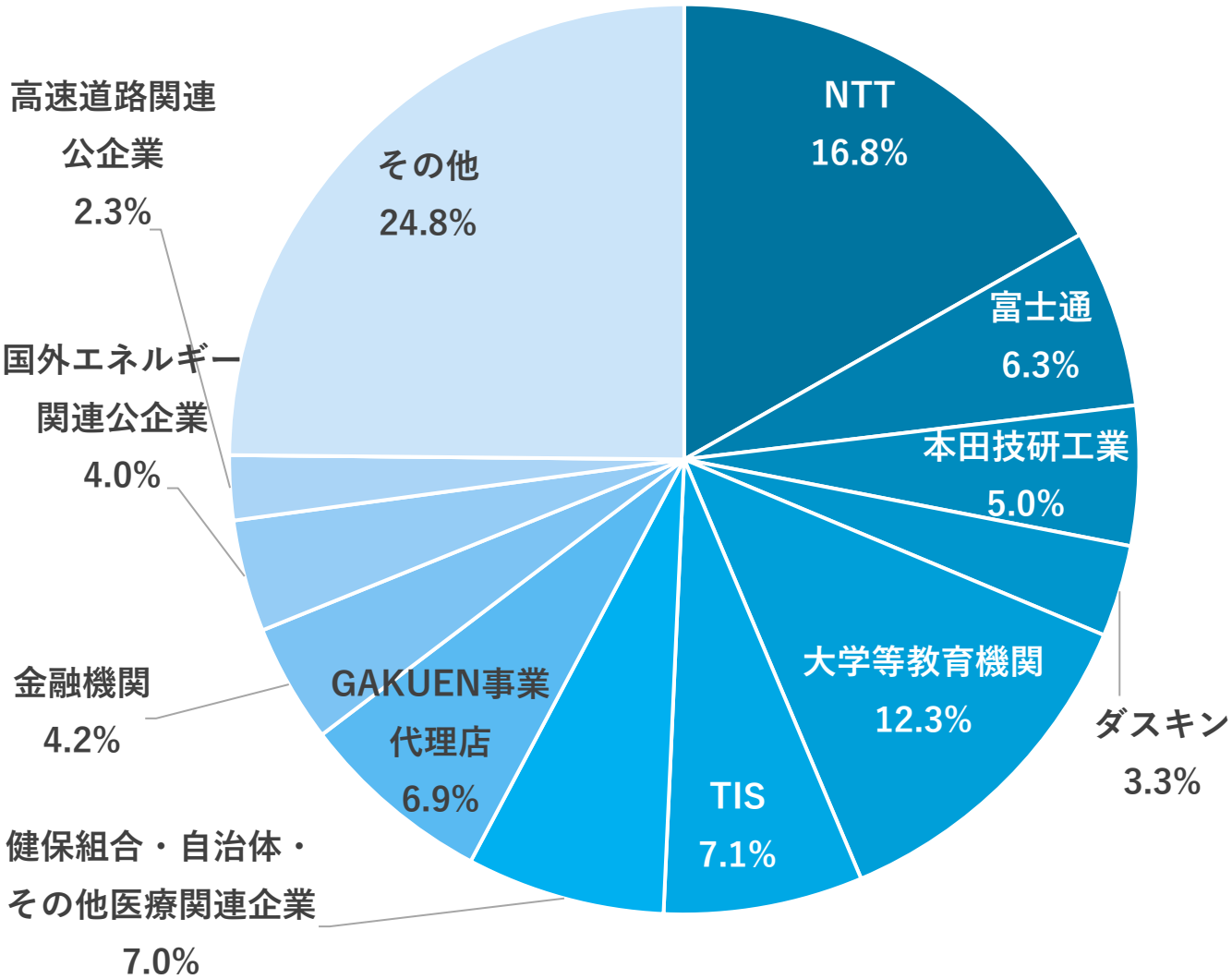
幅広い事業領域への展開により、COVID-19等の不確実性に強い体質を構築



(14) カテゴリ別業績：顧客グループ別売上高

超長期顧客基盤は維持継続しつつ、事業の多様化に伴い新たな顧客グループを拡大

顧客グループ ※（〇〇年）は取引年数を示す	2021年 3月期	2022年 3月期
NTT(27年)	21.4%	16.8%
富士通(45年)	7.7%	6.3%
本田技研工業(38年)	5.0%	5.0%
ダスキン(33年)	3.2%	3.3%
上記4社	37.3%	31.3%
大学等教育機関	15.0%	12.3%
TIS	7.7%	7.1%
健保組合・自治体・その他医療関連企業	4.7%	7.0%
GAKUEN事業代理店	3.3%	6.9%
金融機関	4.3%	4.2%
国外エネルギー関連公企業	2.9%	4.0%
高速道路関連公企業	1.6%	2.3%
システム販売事業その他公企業	0.6%	0.0%
その他	22.6%	24.8%
合計	100%	100%



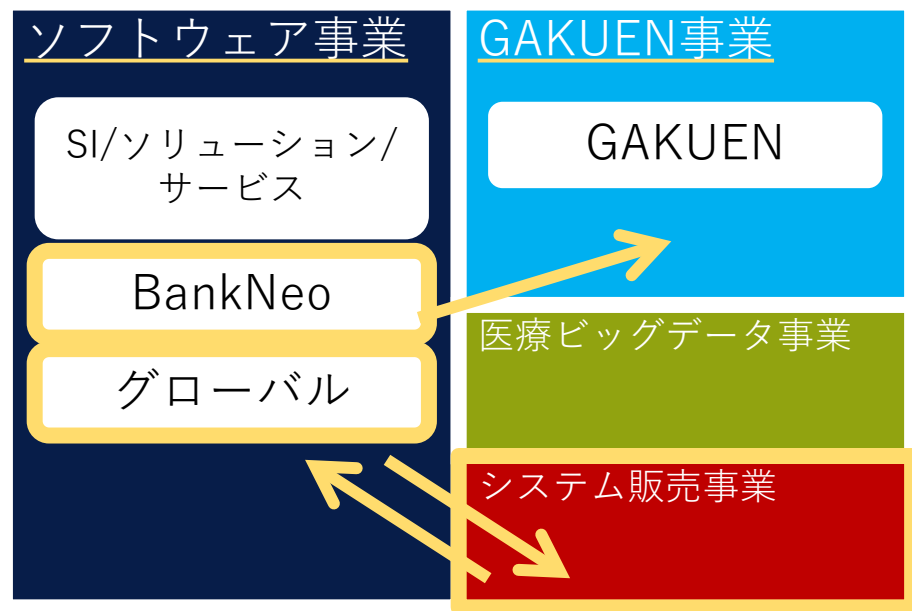
目次

1. 2022年3月期ハイライト
2. JASTグループ概要
3. 業績概況
- 4. 2023年3月期予想と方針**
5. 成長戦略

(1) 事業ポートフォリオの再定義

経営管理・意思決定の精緻化と、より適切な事業価値の開示・報告を目的に
成長戦略と整合性のある事業ポートフォリオへ再定義

※各事業の面積は
売上構成比のイメージ



旧来事業ポートフォリオ
(～2022年3月期)



新事業ポートフォリオ
(2023年3月期～)

(2) 年度方針

全社方針：俊敏・積極的な仕掛と考動で、成果を出す

DX & SI事業		「共創DX」＋「既存SI」で収益基盤の拡大と新事業シーズの創生
パッケージ事業	GAKUEN	「盤石の現有サービス」×「新商材/アライアンス」で文教DXを先導
	BankNeo	「Smart商材拡大」×「金融DX」で銀行業界全域へ市場拡大
医療ビッグデータ事業		「ビジネスの質・量拡大」×「産学官の多角的連携」で、各サービス分野のトップへ
グローバル事業		「商圏拡大」・「商材充実」・「アライアンス推進」でグループ経営に寄与
経営管理	財務・IR	「資本収益性追求」×「国内外IR強化」で、企業価値・市場プレゼンスを向上
	人事	「ワークスタイル改革」×「人事・教育施策」×「経営管理DX」で、企業ポテンシャルを最大限に発揮
	R&D	「研究開発」・「新事業創出」へ向けた積極投資
	広報	「戦略広報の強化」で、認知度とブランドイメージを最大化
	サステナビリティ	サステナビリティ経営の推進で、「四方良し」の持続的成長環境を構築

(3) 業績予想

過去最高業績の連続更新と新たな事業ポートフォリオでの企業価値最大化を目指す

		2021年 3 月期		2022年 3 月期		2023年 3 月期		対前期比較		
		実績	売上比	実績	売上比	予想	売上比	増減額	増減率	売上比変動
売上高	(百万円)	18,789	100.0%	21,399	100.0%	22,400	100.0%	+1,001	+4.7%	—
営業利益	(百万円)	1,216	6.5%	2,000	9.3%	2,120	9.5%	+120	+6.0%	+0.1pt
経常利益	(百万円)	1,310	7.0%	2,052	9.6%	2,160	9.6%	+108	+5.3%	+0.1pt
当期純利益	(百万円)	578	3.1%	1,330	6.2%	1,370	6.1%	+40	+3.0%	▲ 0.1pt
一株当たり 当期純利益	(円)	107.95	—	224.65	—	223.41	—	▲ 1	▲ 0.6%	+0.0pt

(4) 研究開発費

パッケージ事業および新規事業関連の投資を強化
商材開発に加え技術開発・共同研究へエリアを広げ積極投資を継続

単位：百万円

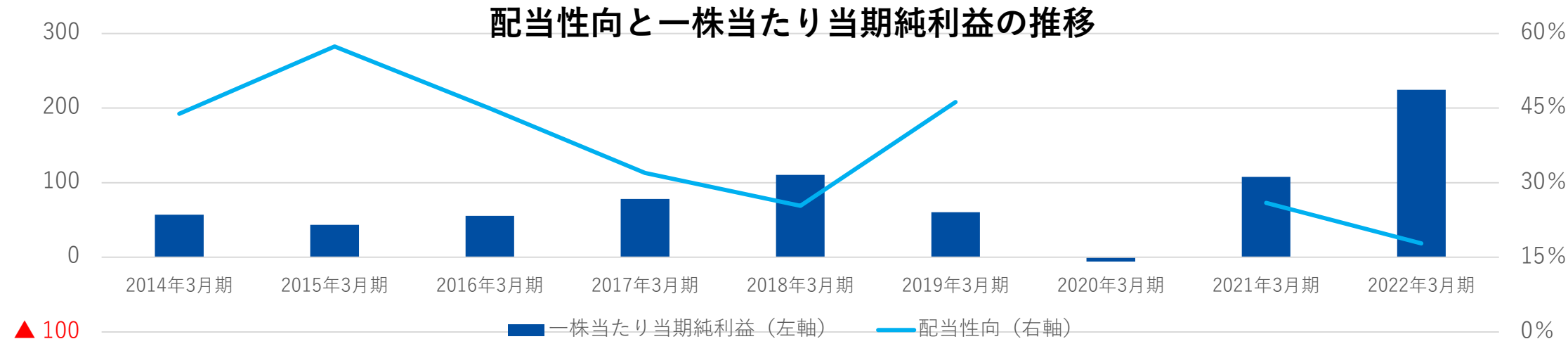
	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期予想	
DX & SI事業	111	98	→	DX & SI事業 - メガソリューション強化 - ブロックチェーン技術の商品化研究
パッケージ事業	196	145	→	GAKUEN - RX製品強化 - 周辺ソリューション拡充 - 卒業生への機能拡充
医療ビッグデータ事業	50	81	→	医療ビッグデータ事業 - 医療機関向け製品開発 - iBss機能拡充
その他	39	110	→	BankNeo - 営業支援システム開発 - SMART BankNeo機能拡充 - クラウド製品開発 - 大規模銀行向け新製品開発
研究開発費合計	399	436	→	その他 - 新商材開発 - 新技術研究 - 産学官共同研究 - 共創型DXによる商材開発

※2023年 3 月期予想の矢印の確度は増減率のイメージ

(5) 株主還元関連

		2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期予定	対前期比較	
					増減	増減比
1株配当金	(円)	28	40	50	+12	+42.9%
期末配当利回り	(%)	1.8	1.6	—	▲ 0.3pt	—
期末株主数	(人)	2,693	2,699	—	+6	+0.2%
期末時価総額	(百万円)	8,530	15,833	—	+7,303	+85.6%

※ 3月期の数値はそれぞれ通期の業績数値を表します。
※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

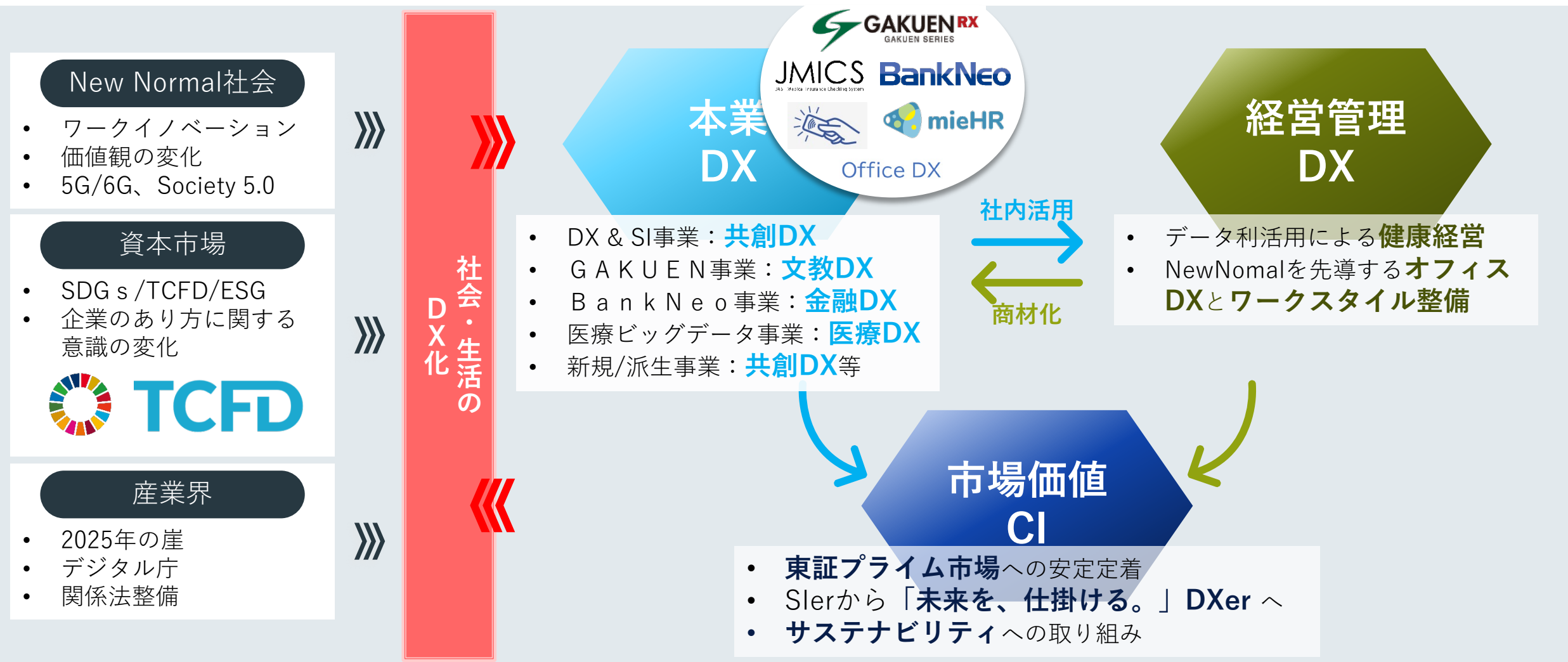


目次

1. 2022年3月期ハイライト
2. JASTグループ概要
3. 業績概況
4. 2023年3月期予想と方針
5. 成長戦略

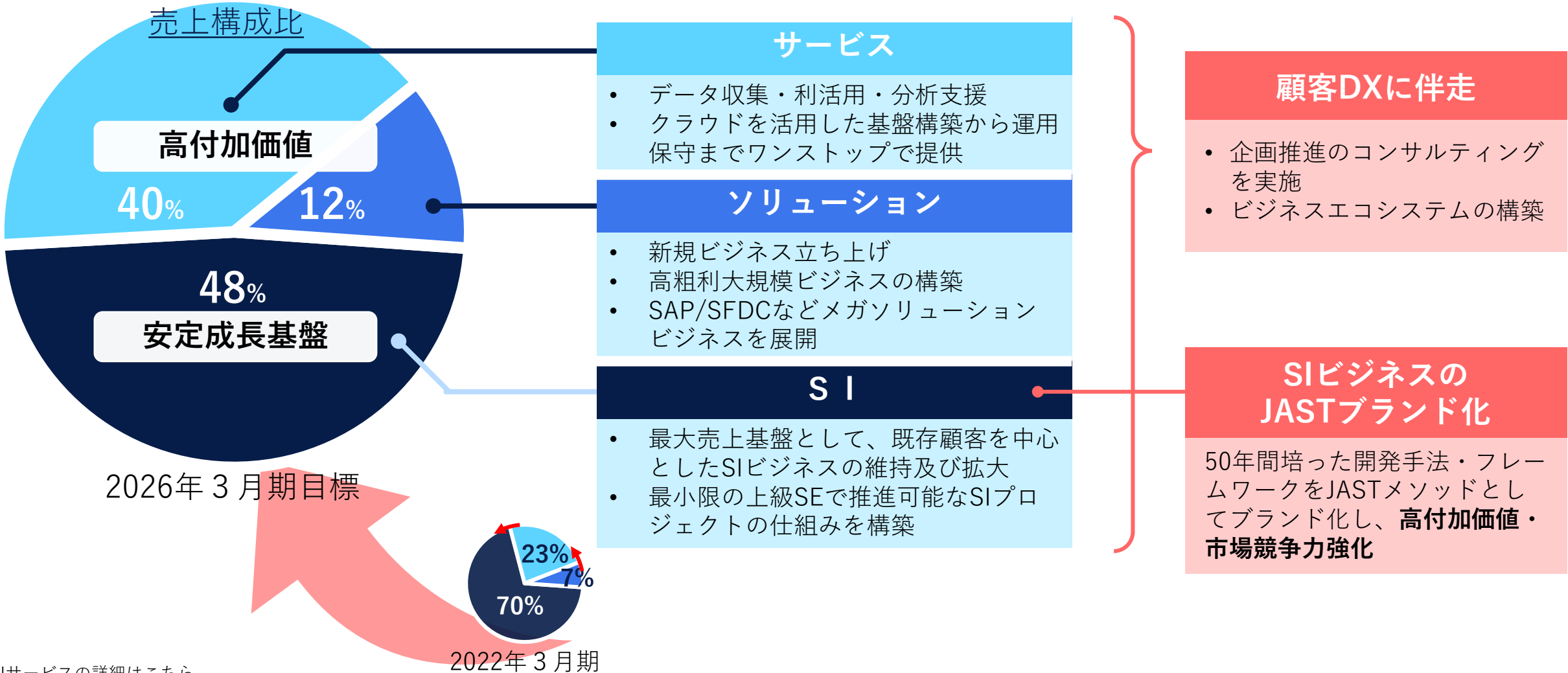
(1) JAST流DX構想

本業・経営管理のDX推進活動を余さず活用し、
事業発展・生産性向上・市場価値向上の循環構造を作る



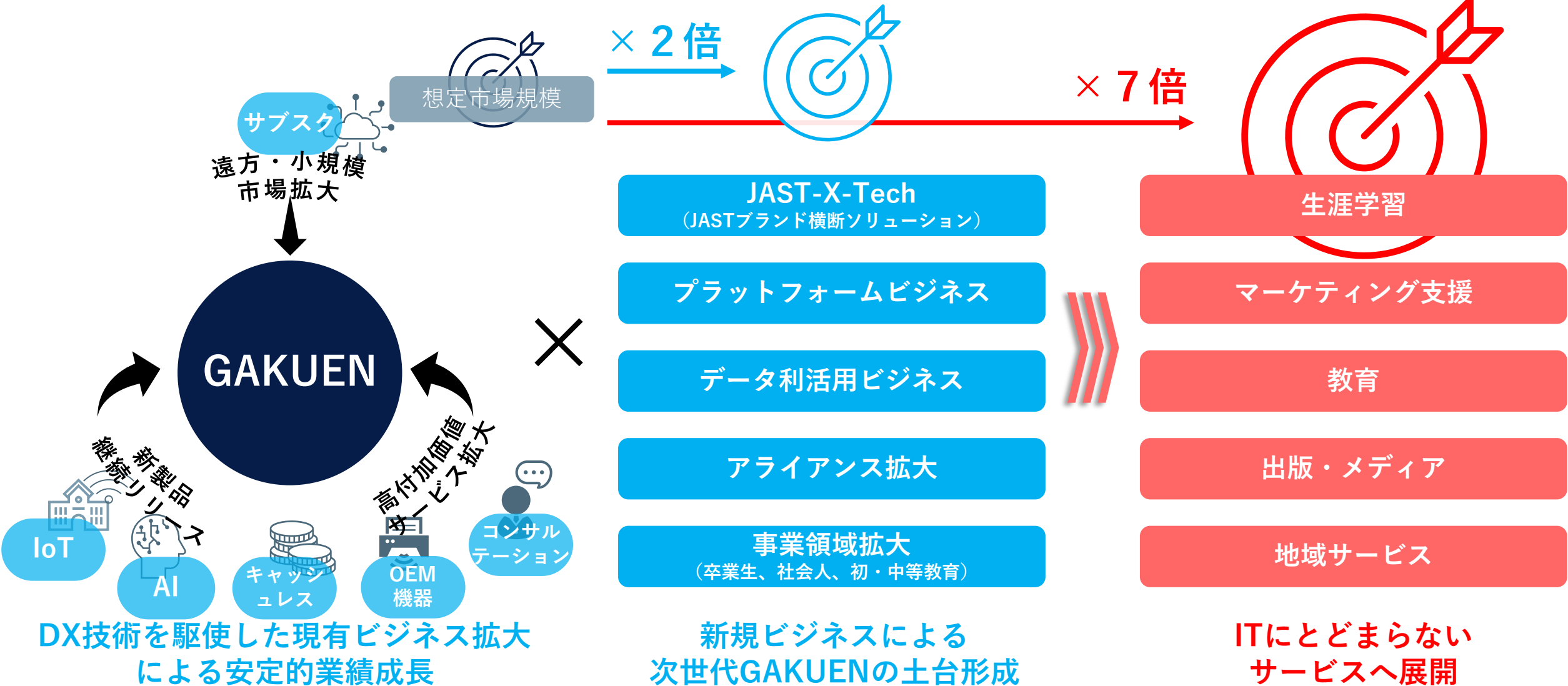
(2) DX & SI事業

事業ポートフォリオを再定義し、
安定成長基盤の維持拡大と高付加価値ビジネスの推進を両立



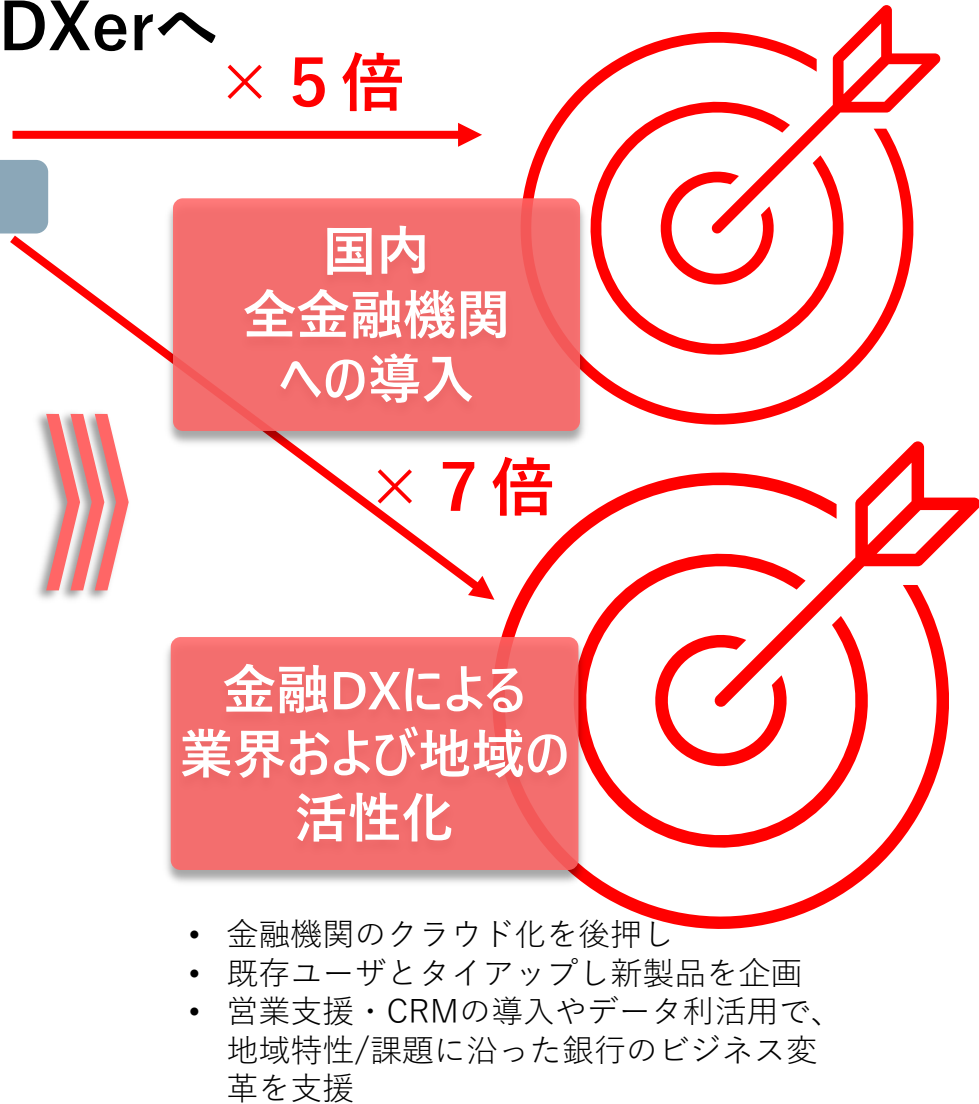
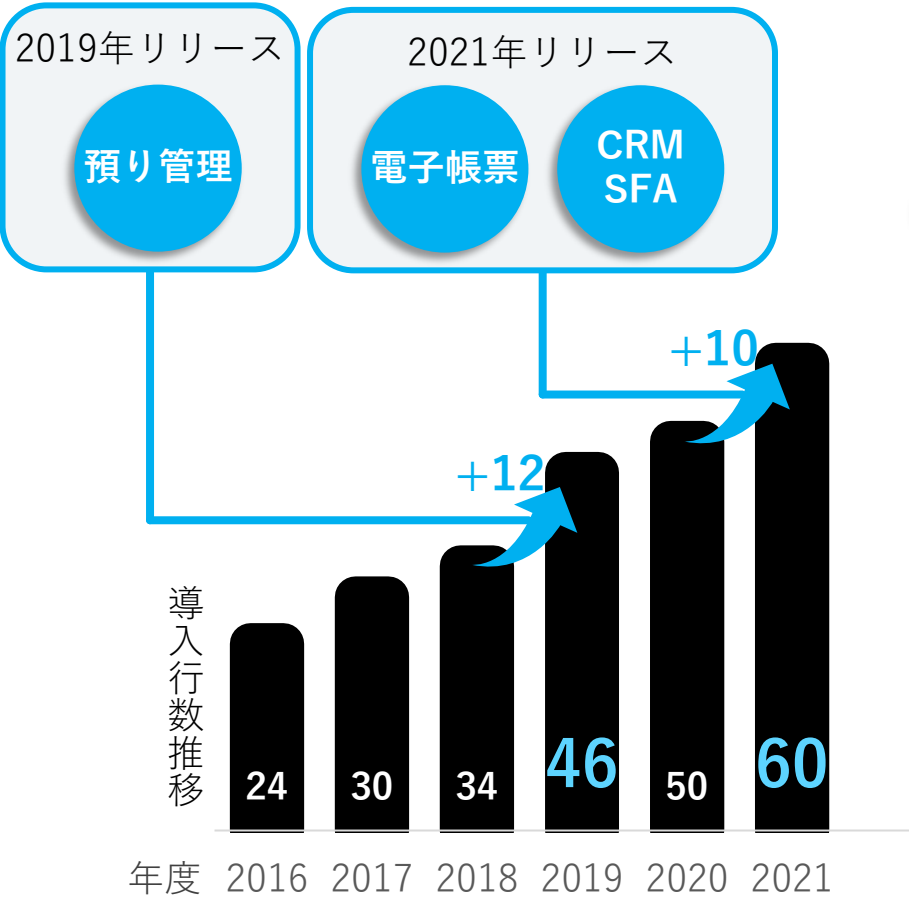
(3) GAKUEN (パッケージ事業)

トップブランドとしての基盤を土台に、新規サービスで対象市場を拡大する



(4) BankNeo (パッケージ事業)

スマート/ニッチ/クラウドをコンセプトに新規ソリューション継続リリース
独自商材で対象市場を拡大し、地域に貢献する金融DXerへ



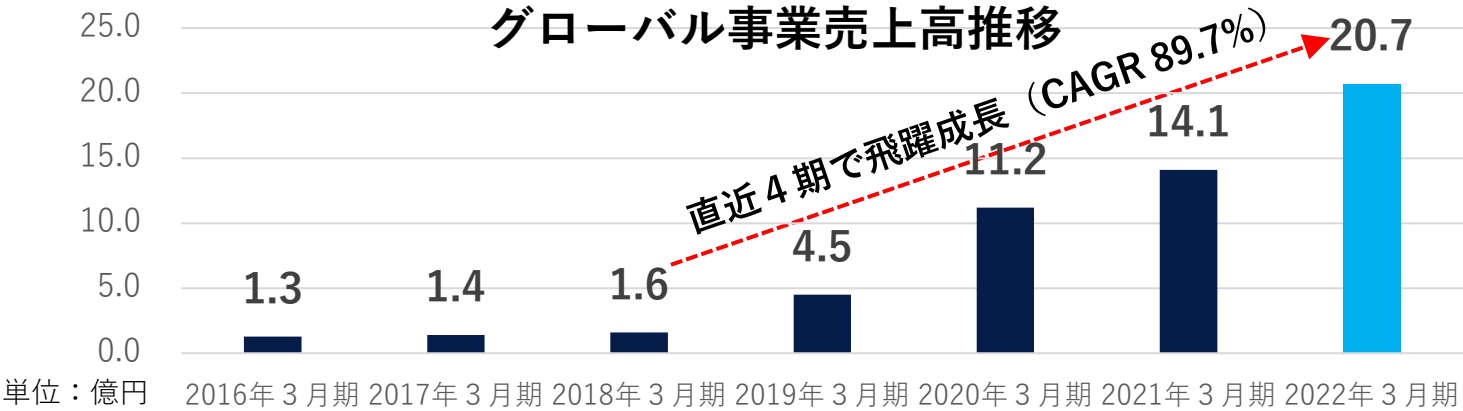
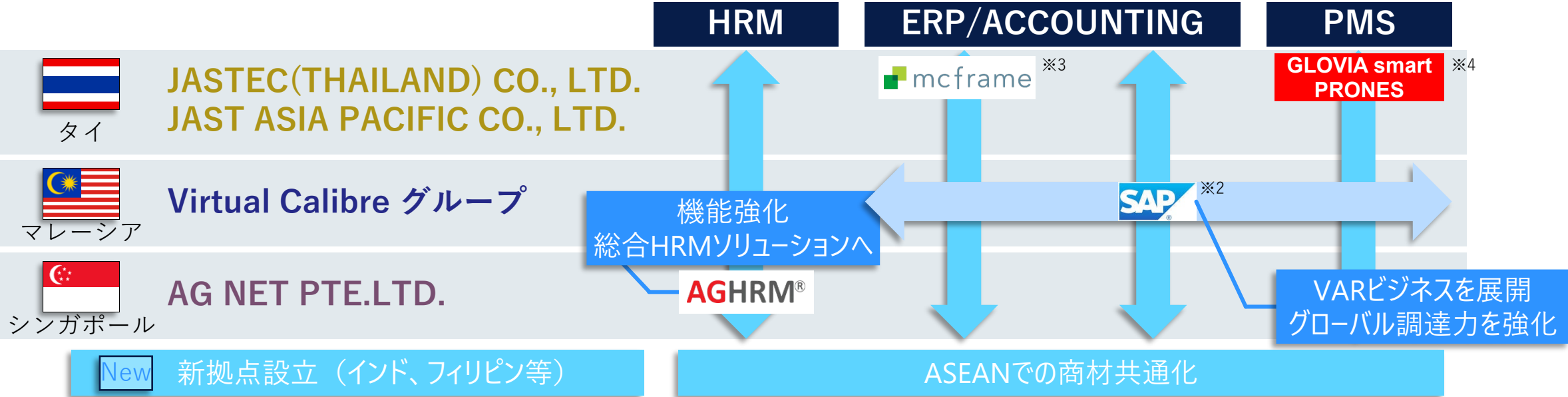
(5) 医療ビッグデータ事業

圧倒的レセプト処理数と保険者プラットフォームを武器に
保険者DXのトッププレイヤーへ



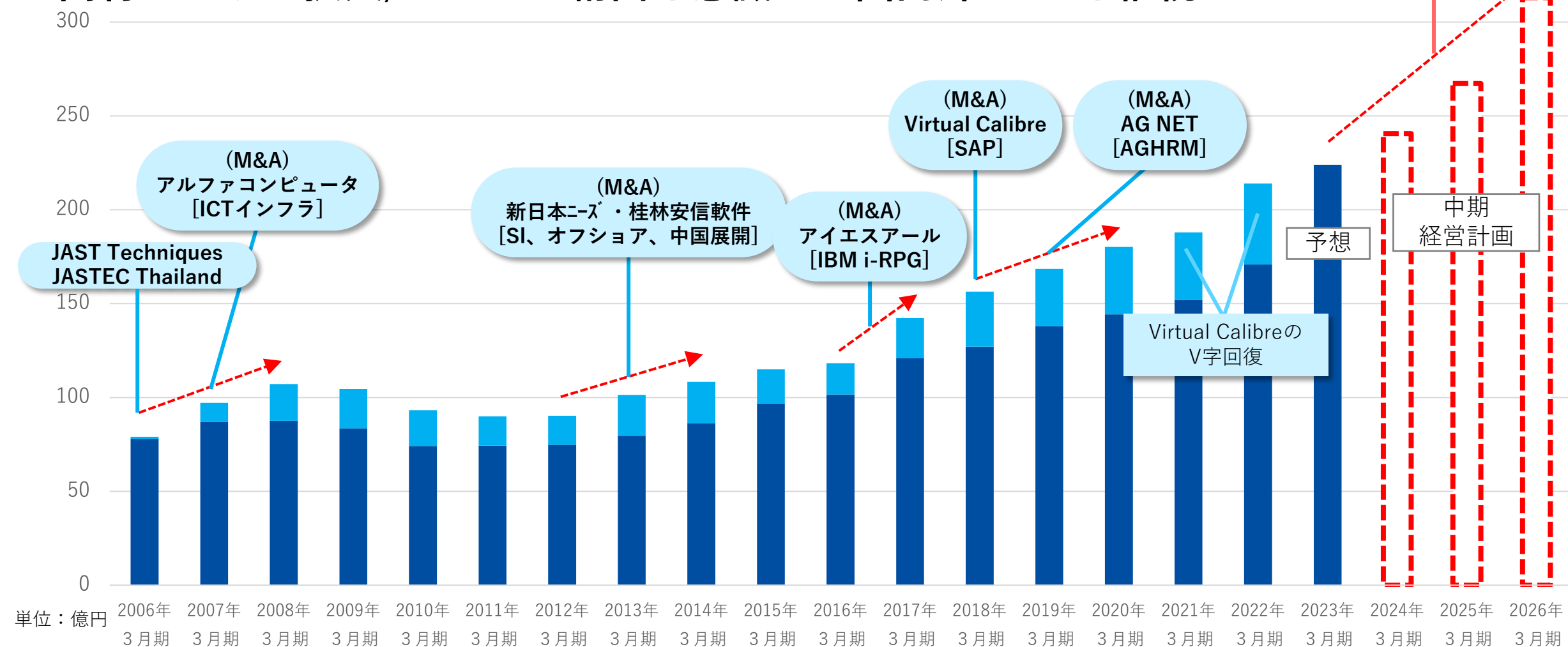
(6) グローバル事業

ASEANはM&A/新拠点設立などを通じ共通商材化、新商材の獲得を目指し
中国はローカル向けビジネスおよびJASTとの連携を強化



(7) M&A/グループ拡大戦略

同業種/他業種×JAST ITでの国内新マーケット創出と、
商材・エリア拡大/シナジー創出を意識した国内外M&Aを継続



※連結調整は
グループ会社売上高から控除

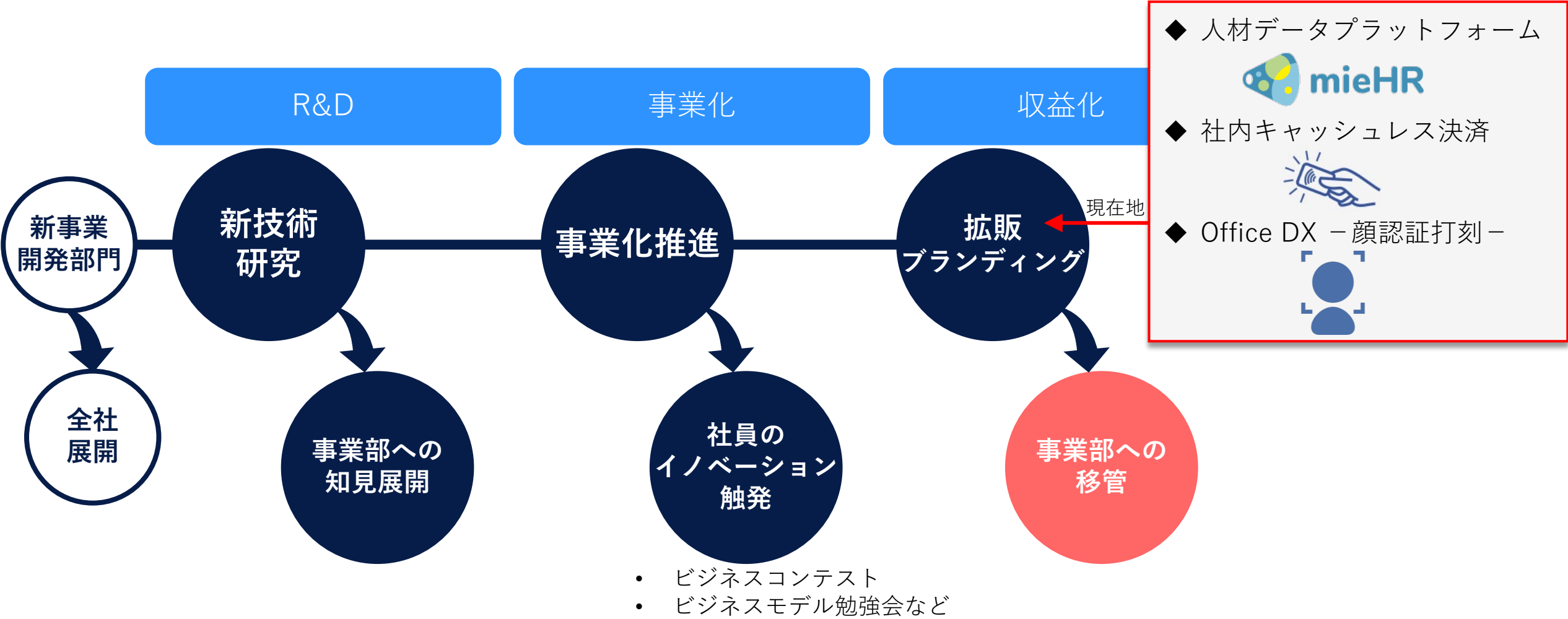
■ JAST単体売上高

■ グループ会社売上高

Quantum leapの発現

(8) R&D・事業創出

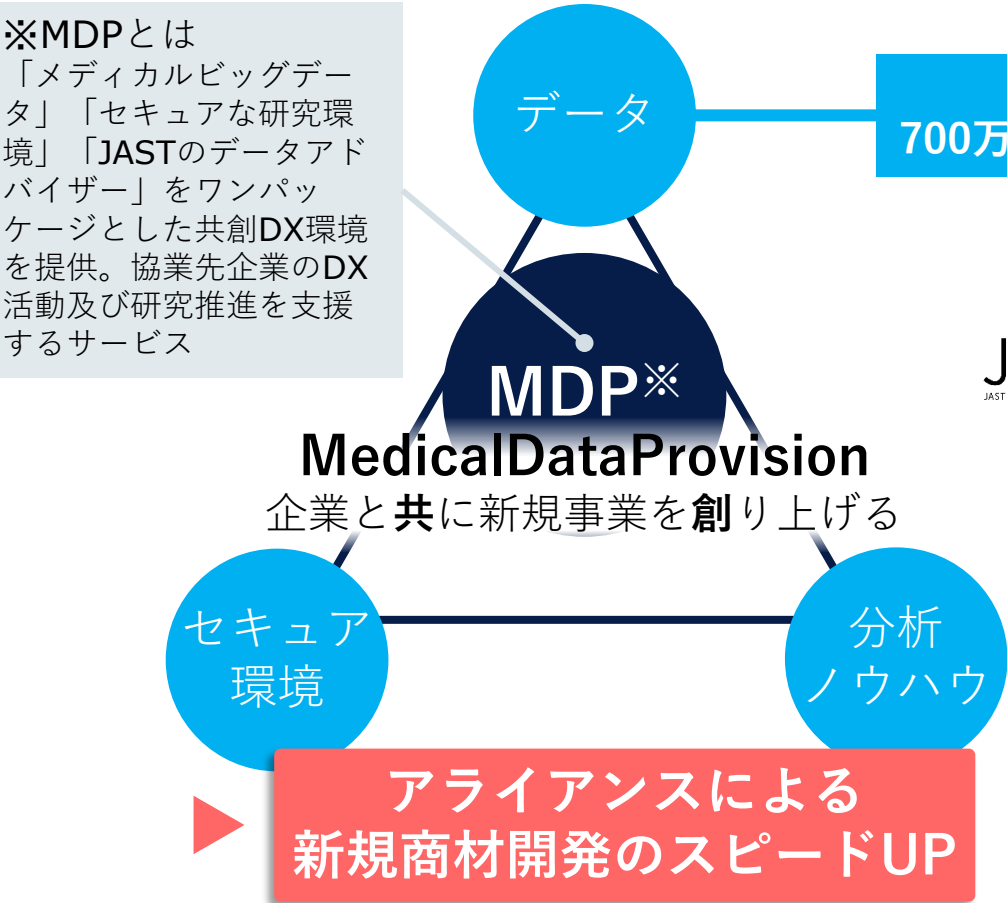
新事業開発部門がR&D～収益化までワンストップで推進し、
事業化スピードアップとノウハウ・技術の現業部門への横展開を目指す



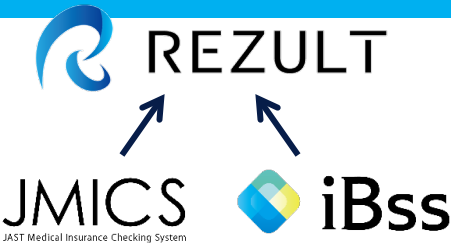
(9) ビッグデータを活用したアライアンス/共同研究

JASTの保有データを最大限活用し、
新規商材創出とJASTの企業価値向上を狙う

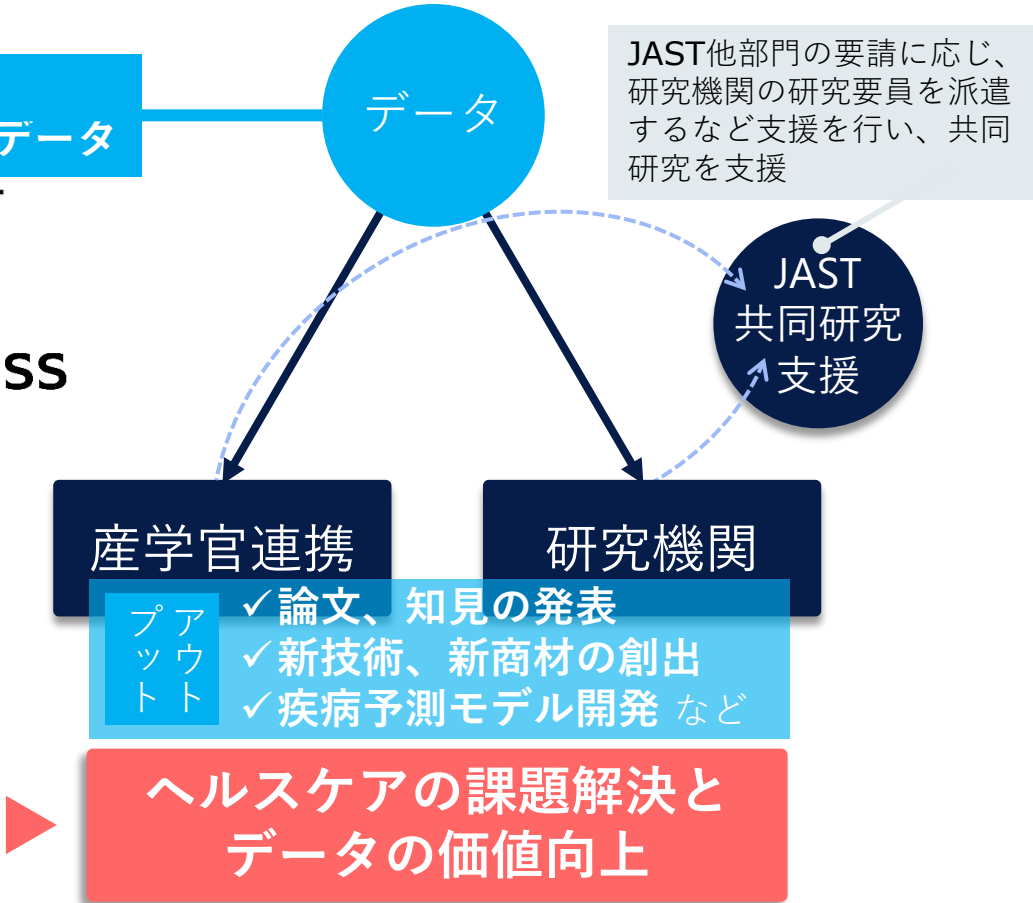
共創型DX商材開発



JASTの保有する
700万人超のメディカルデータ



共同研究



(10) 新領域への適応とアライアンス戦略

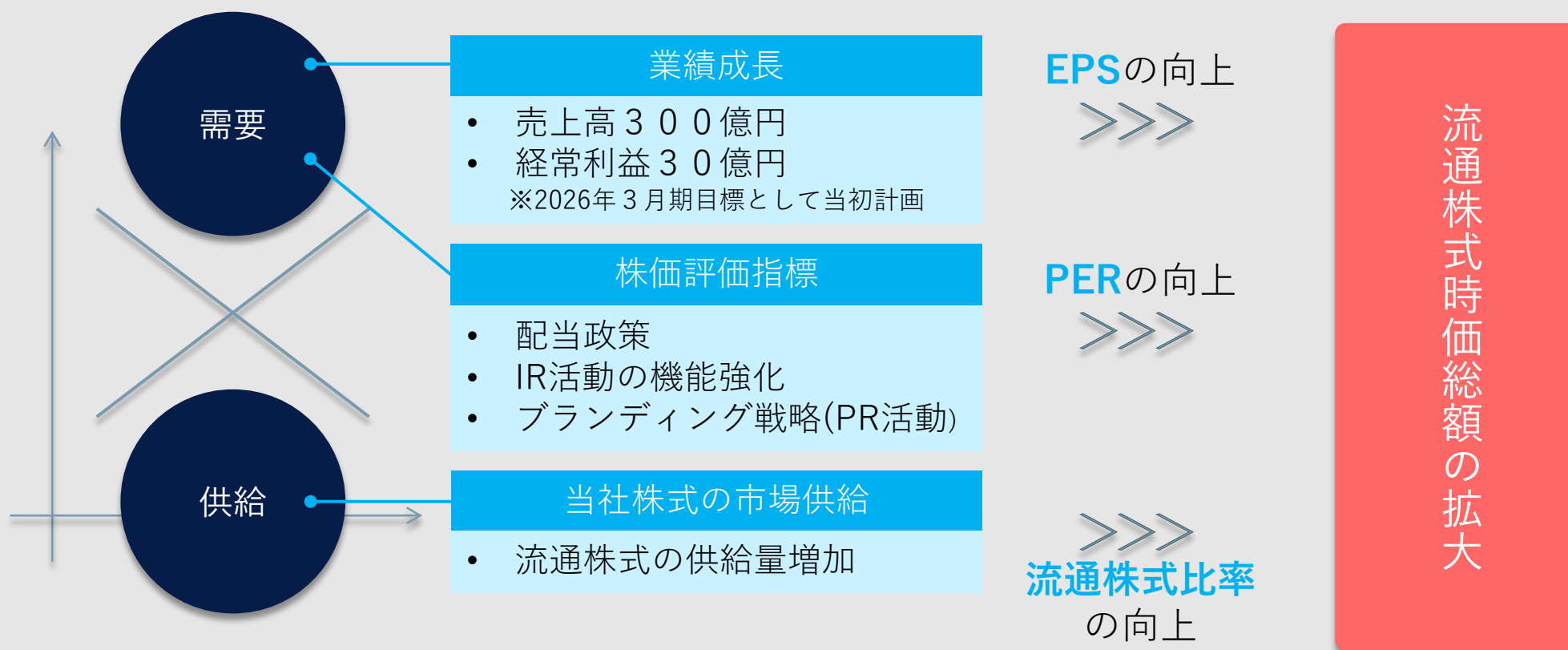
ターゲットとなる新領域は多方面にわたる。積極的な研究開発とアライアンス戦略で次なる成長ドライバを加速的に生み出していく

	ビッグデータ データサイエンス	NewNomal DX	ブロックチェーン フィンテック	AI、生体認証、VR	クラウド
DX & SI事業	✓ データサイエンス案件の拡大	✓ ECサイト構築 ✓ SAP※2 ✓ タレントマネジメント mieHR		✓ SI開発での適用拡大 ✓ Office DX －顔認証打刻－	✓ SI開発での適用拡大 ✓ SAP※2
BankNeo (パッケージ事業)	✓ 「BankNeo for CRM/SFA」	✓ 預り管理 ✓ 電子帳票 非対面/事務効率機能強化 営業生産性向上支援		パッケージ機能への適用	✓ 「SMART BankNeo」
GAKUEN (パッケージ事業)	✓ 経営意思決定支援(BI) ✓ IR 教育ビッグデータ	✓ スマホアプリ ✓ E-learning 教科書選定DBとの連携	✓ 学内電子マネー ブロックチェーン活用	✓ パッケージ機能AI化 パッケージへの追加適用	✓ GAKUEN サブスクリプション
医療ビッグデータ 事業	✓ 月間レセプト処理数拡大 ✓ データ利活用サービス拡大 ✓ メディカルビッグデータ サービス「REZULT」	✓ Webサービス「iBss」 ✓ 重症化予想モデル BtoBtoC商材		✓ アカデミア連携 ✓ AI健康経営支援 レセプト処理のAI化	✓ クラウド版 レセプト点検
グローバル事業	文教BI	✓ SAP※2 ✓ mcframe※3			✓ AGHRM ✓ SAP※2
・アライアンス ・社内ベンチャー による新規事業創出	✓ 共創DXサービス「MDP」 ✓ 産学官連携		✓ オフィス・キャッ シュレス決済	自然言語処理の事業活用	

※2・3：他社ソリューションの商標については
当資料末尾「商標」に記載しております

(11) 時価総額増大へ向けた方針

業績成長は計画以上のペースで進捗中
 株価評価指標・株式の市場供給量に関する施策は段階的に実施を検討中



※2022/11/24に公開した「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」からの抜粋

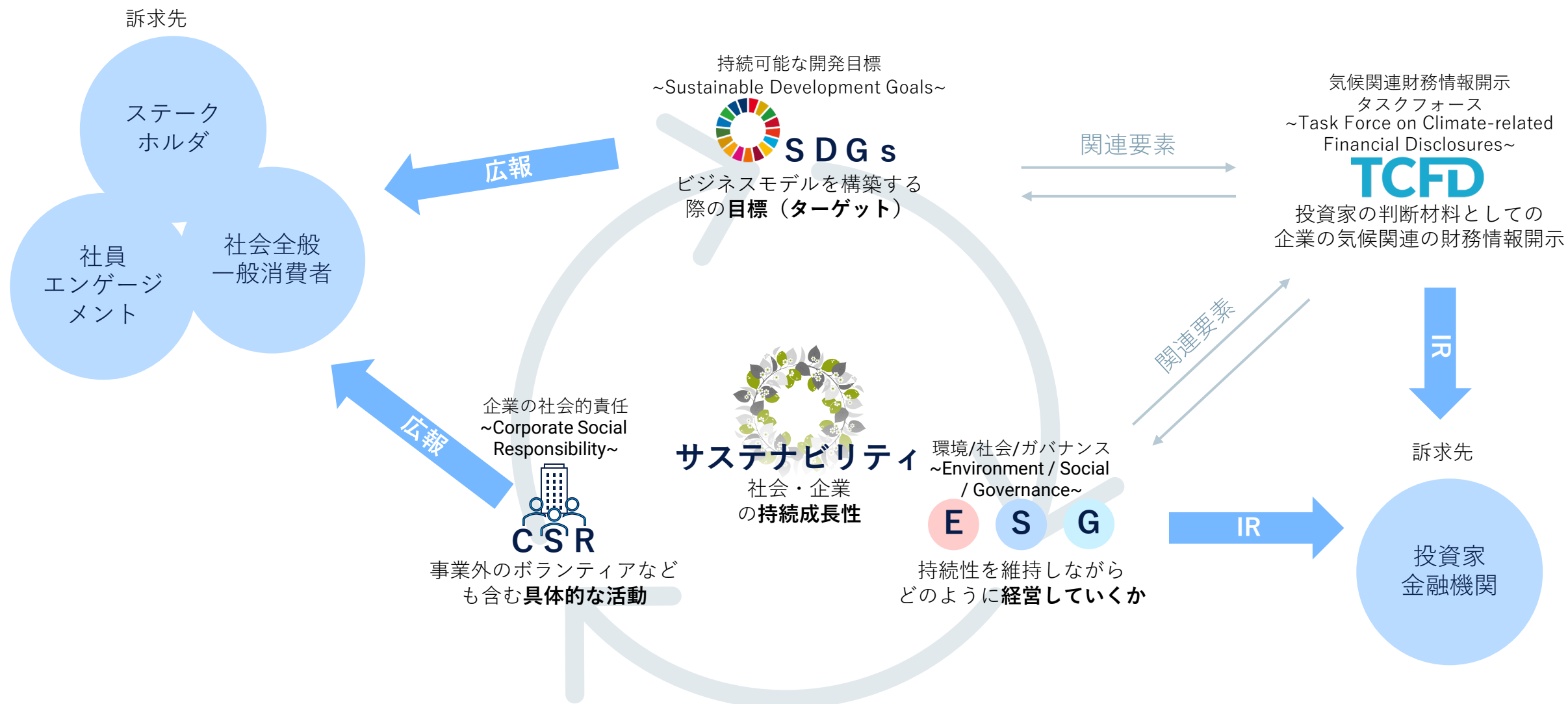
(1 2) 上場維持基準の適合に向けた進捗状況

当社状況	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)	1 日平均 売買代金 (億円)
2021年 6 月末時点※ ¹	2,556	30,061	46	53.5	0.7
2021年 9 月末時点※ ²	2,380	35,820	67	57.7	-
2022年 3 月末時点※ ³	2,166	35,258	81	56.8	-
2022年 6 月 7 日現在※ ⁴	2,166	35,258	86	56.8	-
上場維持基準	800	20,000	100	35.0	0.2
適合状況	○	○	×	○	○

※ 1 東京証券取引所が基準日時点（2021年 6 月30日）で把握している当社の株券などの分布状況などをもとに算出
※ 2 当社算出：1 日平均売買代金は省略、株価は2021年 9 月末日以前 1 ヶ月間の日々の終値の平均値にて試算
※ 3 当社算出：流通株式数は2022年 3 月31日時点、株価は2022年 3 月31日以前 3 ヶ月間の日々の終値の平均値にて算出
※ 4 当社算出：流通株式数は2022年 3 月31日時点、株価は2022年 6 月 7 日以前 3 ヶ月間の日々の終値の平均値にて算出

（１３）サステナビリティ経営の全体像

持続成長へ向けた企業活動を、適切な開示により各ステークホルダーへ訴求



(1 4) SDG s への取り組み一覧

重要課題	事業分野	内容	SDGsテーマ
産業とICTのイノベーション	当社事業全般	情報化の創造・提供による社会貢献 産業構造の変革をICTでサポート 共創・共同体制の構築、エコシステムの変革に貢献	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
ICTを活用した学習活動のサポート	GAKUEN	大学の未来を創るトータルソリューションの提供 ICTを活用した質の高い授業支援、テクノロジーを活用した教育 教育ビッグデータ活用による教育の質向上支援 リカレント教育（生涯学習）環境の実現	4 質の高い教育をみんなに 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
医療費の適正化と健康増進への貢献	医療ビッグデータ事業	医療ビッグデータの活用による重症化予防や適正医療への貢献 アカデミア等との共同研究を通じた感染症などの疾病、医療問題への取り組み	3 すべての人に健康と福祉を 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
健康経営への取り組み	健康経営	「健康経営」の推進 定期健康診断・人間ドックの受診促進 長時間勤務撲滅 コミュニケーション促進に向けた取り組み（イベント等） コロナ禍における心身の健康増進	3 すべての人に健康と福祉を 8 働きがいも経済成長も
学びの機会提供	育成・教育	社内研修制度の充実（社内認定資格の運用等） インターンシップ（学生向けにシステムエンジニアの職業体験を提供） システム開発を通じた教育・学習支援	4 質の高い教育をみんなに
ダイバーシティへの取り組み	採用・処遇	人種・国籍・性別等にとらわれない採用と公正な処遇 多様な働き方を支える社内諸制度	5 ジェンダー平等を實現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう
環境負荷の低減	経営管理全般	オフィスDX推進によるペーパーレス化への取り組み オフィスやデータセンター等での環境問題対策への取り組み	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 13 気候変動に具体的な対策を

※2021年7月27日発表のSDGs宣言および弊社コーポレートサイト「[SDG s の取り組み](#)」からの抜粋

(15) CSRへの取り組み一覧

ISO26000における中核課題	JASTの取り組み
組織統治	□ コーポレート・ガバナンスの強化 □ 内部統制システムの継続的運用・改善 □ リスク管理体制の確立 □ ステークホルダーとの対話
人権	□ 人権の尊重・差別の禁止
環境	□ ISO14001に準拠したマネジメント活動 □ オフィスの省エネ化推進
労働慣行	□ ワーク・ライフ・バランスの推進 □ ダイバーシティの推進 □ 労働安全衛生委員会による定期的な改善活動 □ 健康経営への取り組み
公正な事業慣行	□ 法令順守意識の醸成（定期的な意識向上教育）
消費者課題	□ ISO9001および個人情報保護マネジメントシステム（Pマーク）の認証取得
コミュニティへの参画および コミュニティの発展	□ 地域清掃活動 □ ベルマーク、エコキャップ収集活動 □ 寄付（金銭・物品） □ ボランティア活動（被災地支援）

※弊社コーポレートサイト「[CSRの取り組み](#)」からの抜粋

ご清聴ありがとうございました



未来を、仕掛ける。

【注意】

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。尚、特に注記のない限り、業績に係る数値等は全て連結ベースで記載しております。

【商標】

- ※1：「RezeptPlus」は富士通Japan株式会社の登録商標です。
- ※2：「SAP」およびSAPロゴ、及びSAP製品は、ドイツおよびその他の国におけるSAP AGの商標または登録商標です。
- ※3：「mcframe」は、ビジネスエンジニアリング株式会社の登録商標です。
- ※4：「GLOVIA smart PRONES」及びGLOVIA smart製品は、富士通株式会社の商標または登録商標です。

日本システム技術株式会社

<https://www.jast.jp/>

お問い合わせ

<https://www.jast.jp/contact/>